

くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書 【平成28年度版】

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

A decorative graphic consisting of several blue spheres with horizontal lines, arranged in a diagonal line from the bottom left to the top right. Below the spheres are three horizontal blue bars of varying lengths, also arranged in a diagonal line from the bottom left to the top right.

平成28年10月

＜熊本市＞

目 次

1. 調査概要	1
2. アンケート調査結果	2
(1) 回答者の内訳	2
(2) 調査結果	5

■ 「ひとづくり」プロジェクトについて

1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。	5
2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	7
2-1. 問2で「参加した」と回答した場合、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	9
2-2. 問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。	11
2-3. 問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。	13
3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	15
4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。	17
5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。	19

■ 「まちづくりプロジェクト」について

6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	21
7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	23
7-1. 問7で「参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。	25
7-2. 問7で「参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。	27
7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	29
7-4. 「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。	31

7-5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。	・・・35
8. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。	・・・37
9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。	・・・39
10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。	・・・41
11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。	・・・43

■ 「カーボン・オフセット」について

12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。	・・・45
------------------------------	-------

■ 「生物多様性」について

13. 「生物多様性」について知っていますか。	・・・47
-------------------------	-------

■ 「ごみ出しルール」について

14. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。	・・・49
-----------------------------	-------

■ 「スマートハウス」について

15. 「スマートハウス」について知っていますか。	・・・51
16. 「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか。	・・・53

■ 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

17. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。	・・・55
---	-------

4. 参考資料（調査票）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

1. 調査概要

■調査目的

平成23年3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取り組み状況や、それに対するニーズなどを調査し、重点協働プロジェクトの進捗状況の把握及び、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

■調査対象

市民：3,000人（住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出）

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布・回収

■調査期間

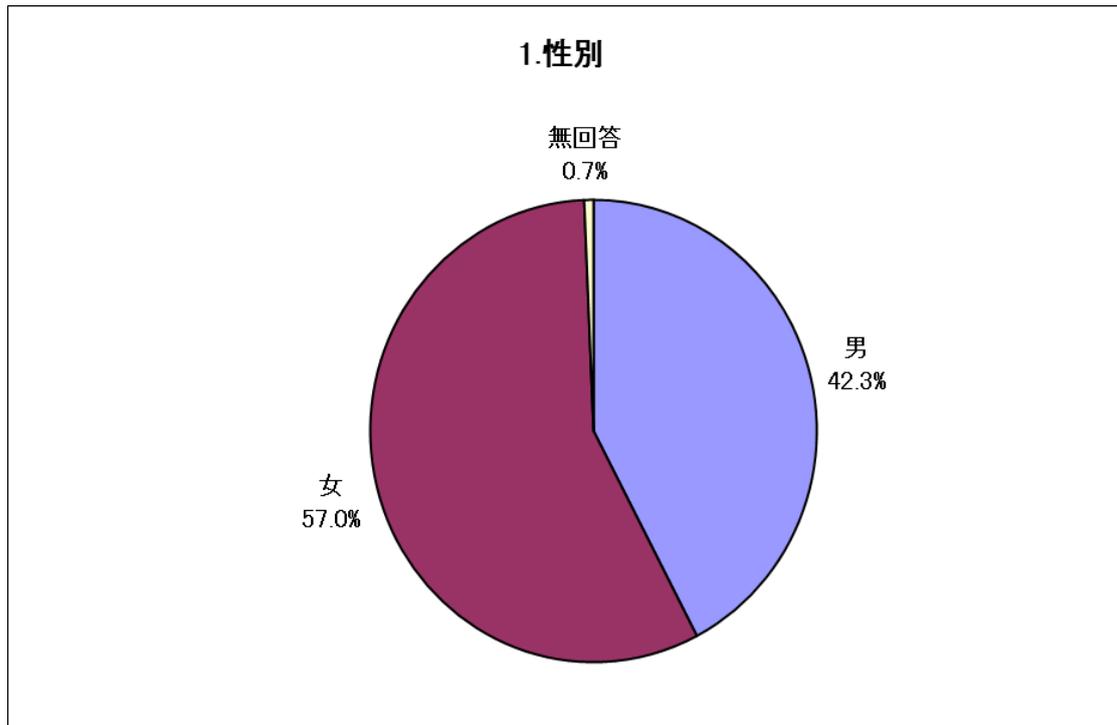
平成27年12月24日～平成28年2月4日

■有効回収数（有効回収率）

1,051人（35.0%）

2. アンケート調査結果(平成27年度)

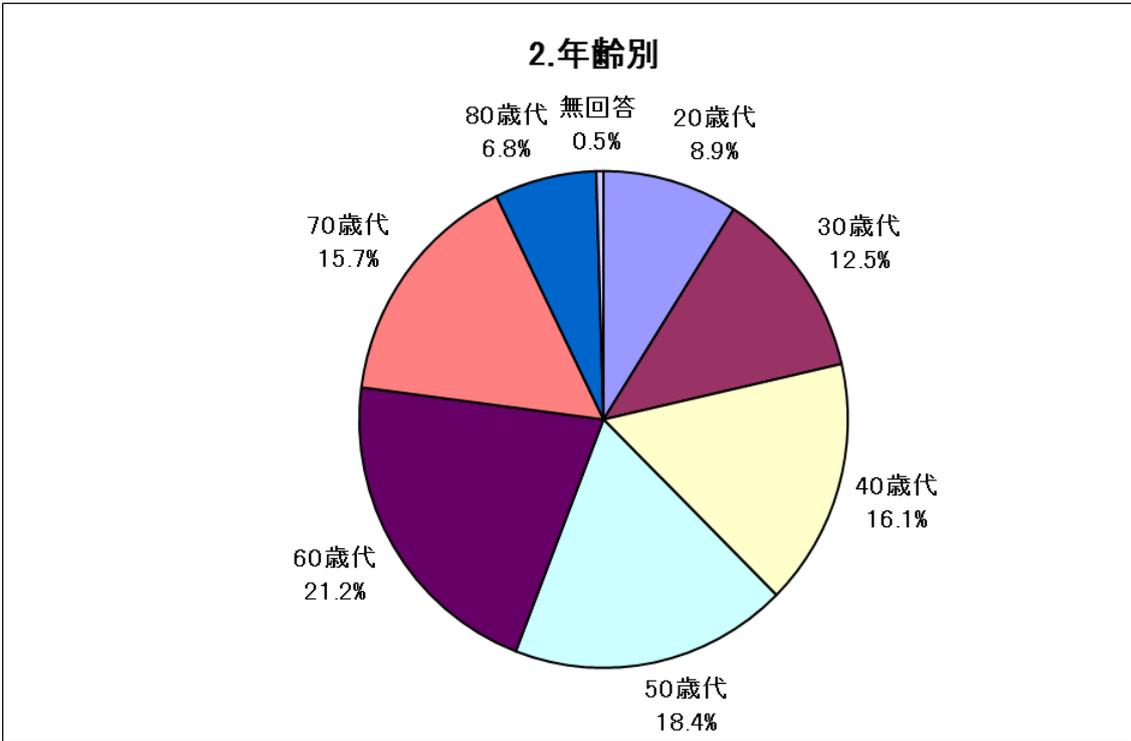
(1)回答者の内訳



性別	アンケート回答数	割合
男	445	42.3%
女	599	57.0%
無回答	7	0.7%
計	1,051	100.0%

性別	アンケート回答数	アンケート発送数	回答率
男	445	1,397	31.9%
女	599	1,603	37.4%
無回答	7	0	
計	1,051	3,000	35.0%

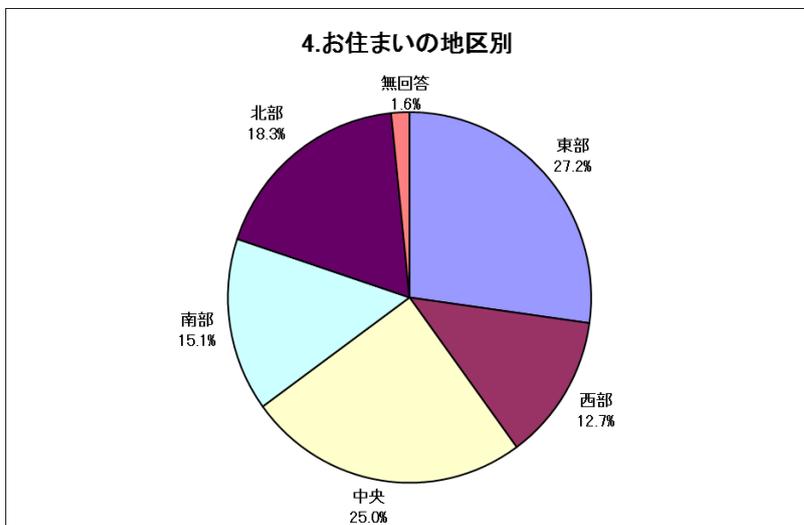
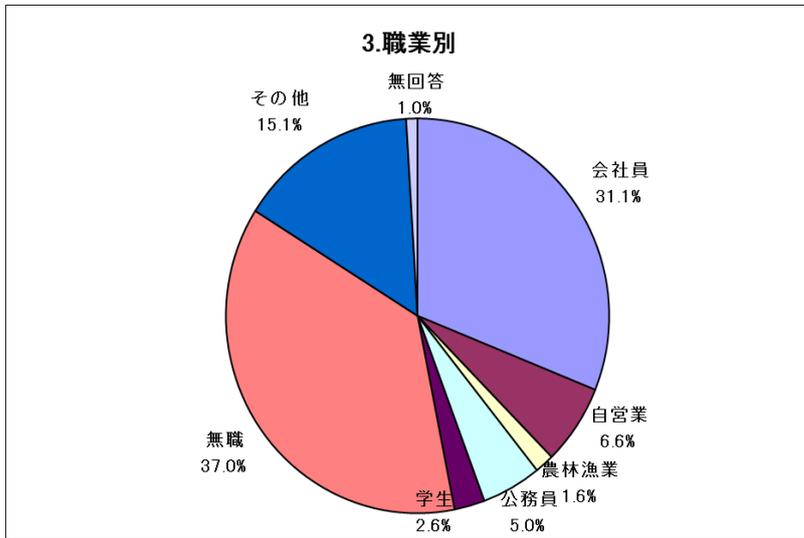
※発送数は20～89歳までの人口割合による



年齢別	アンケート回答数	割合
20歳代	94	8.9%
30歳代	131	12.5%
40歳代	169	16.1%
50歳代	193	18.4%
60歳代	223	21.2%
70歳代	165	15.7%
80歳代	71	6.8%
無回答	5	0.5%
計	1,051	100.0%

年齢別	アンケート回答数	アンケート発送数	回答率
20歳代	94	404	23.3%
30歳代	131	490	26.7%
40歳代	169	523	32.3%
50歳代	193	478	40.4%
60歳代	223	516	43.2%
70歳代	165	356	46.3%
80歳代	71	233	30.5%
無回答	5		
計	1,051	3,000	35.0%

※発送数は20～89歳までの人口割合による



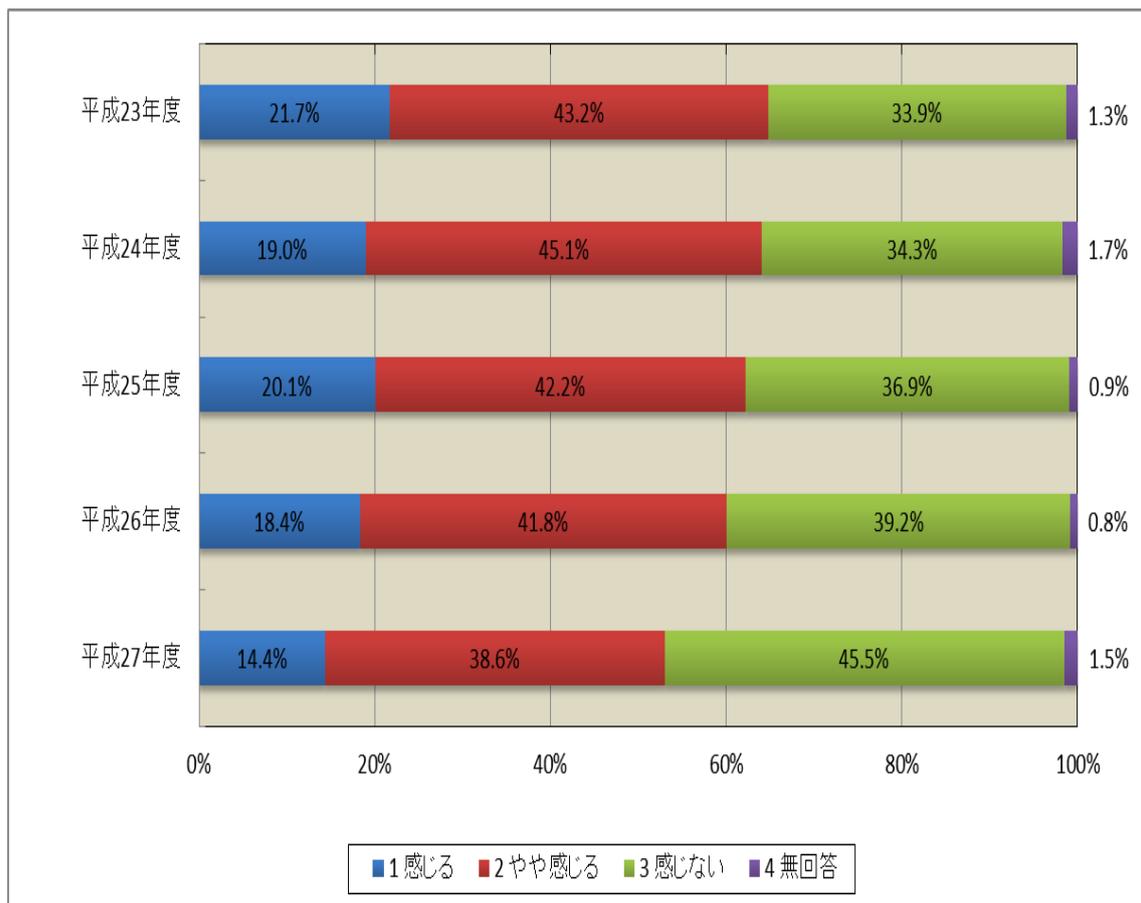
回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田、田迎西、力合西
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

(2) 調査結果

問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

問1. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

- ・「感じない」の割合が、45.5%と最も高く、次いで「やや感じる」(38.6%)、「感じる」(14.4%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 53%で、7.2 ポイント減少している。
- ・過去5年間の推移としては、毎年度ごとに「やや感じる」、「感じる」と回答した割合が平成23年度の64.9%から平成27年度では53.0%まで落ち込んでおり、学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多くなってきていることがうかがえる。



■属性別結果

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,051	14.4%	38.6%	45.5%	1.5%
性別					
男性	445	15.3%	36.0%	47.4%	1.3%
女性	599	13.7%	40.4%	44.4%	1.3%
年代別					
20歳代	94	7.4%	23.4%	68.1%	0.0%
30歳代	131	8.4%	34.4%	57.3%	0.0%
40歳代	169	10.1%	39.1%	49.1%	1.8%
50歳代	193	11.9%	43.0%	44.6%	0.5%
60歳代	223	18.4%	38.1%	42.6%	0.9%
70歳代	165	21.8%	44.2%	30.3%	3.6%
80歳代	71	22.5%	40.8%	33.8%	2.8%
職業別					
会社員	327	12.2%	36.1%	51.7%	0.0%
自営業	69	18.8%	29.0%	49.3%	2.9%
農林漁業	17	17.6%	47.1%	29.4%	5.9%
公務員	53	18.9%	56.6%	24.5%	0.0%
学生	27	11.1%	18.5%	70.4%	0.0%
無職	389	17.0%	38.3%	42.7%	2.1%
その他	159	9.4%	44.7%	43.4%	1.9%
地区別					
東部	286	11.2%	39.2%	48.3%	1.0%
西部	134	12.7%	37.3%	47.0%	3.0%
中央	263	12.5%	44.1%	41.8%	1.5%
南部	159	20.8%	32.1%	46.5%	0.6%
北部	192	17.2%	36.5%	45.3%	1.0%

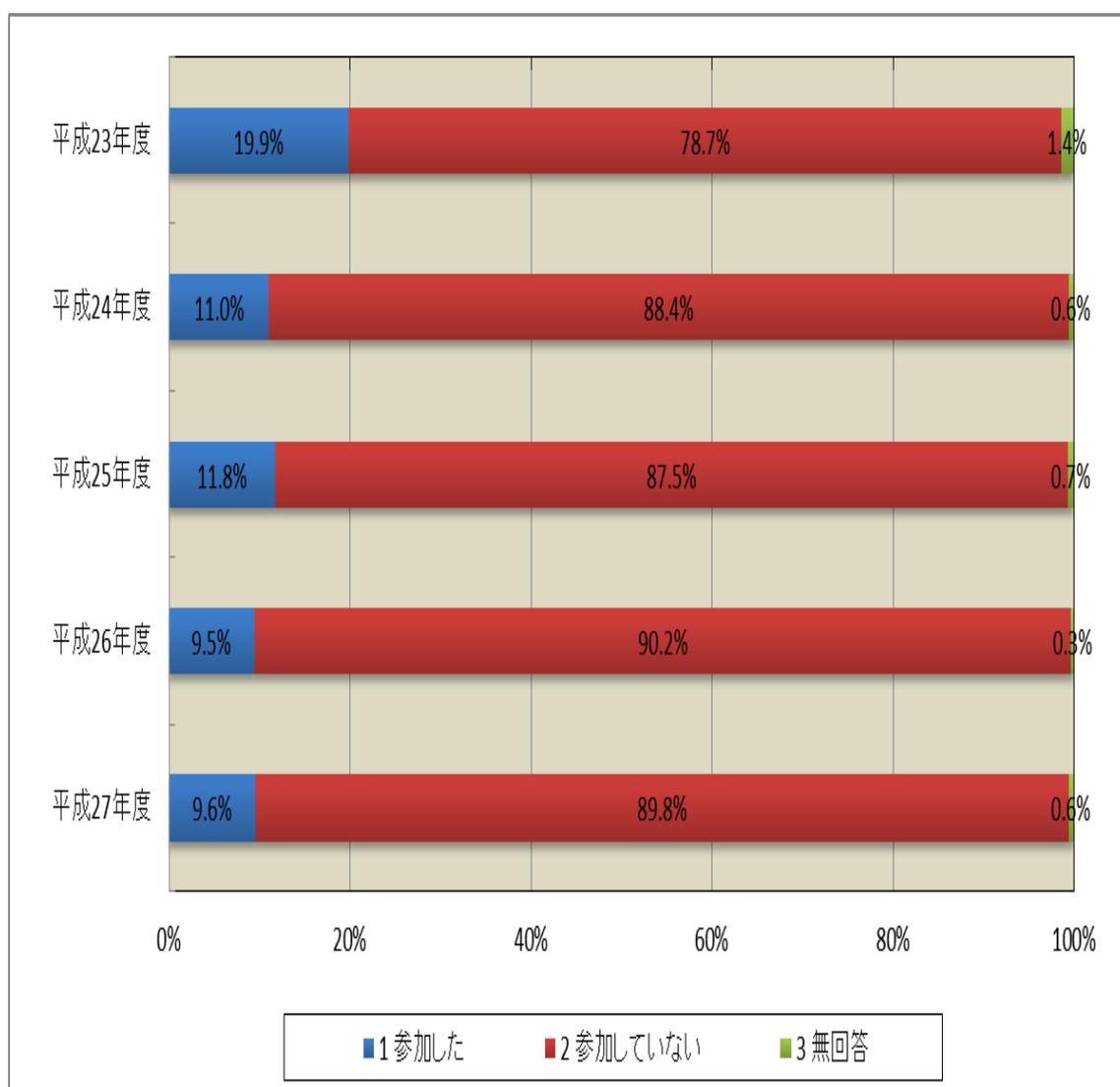
【回答者の属性別にみた結果】

性別では、女性の「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が男性を 2.8 ポイント上回っており、年代別にみると、70歳代が 66.0%と最も高く、次いで 80歳代、60歳代となっている。20歳代と 30歳代では、「感じない」の割合がそれぞれ他の年代と比較して高い。

地区別では、中央が 56.6%と最も高く、次いで北部、南部となっている。

問2. この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

- ・「参加した」割合は 9.6%で、全体の約 9 割が学習会やイベントに参加していないと回答している。
- ・前回調査と比較すると、「参加した」割合は 0.1 ポイント微増している。
- ・過去 5 年間の推移としては、平成 23 年度「参加した」割合は 19.9%であったが、直近の 2 年はほぼ半減している。



■属性別結果

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,051	9.6%	89.8%	0.6%
性別				
男性	445	9.7%	89.9%	0.4%
女性	599	9.5%	90.2%	0.3%
年代別				
20歳代	94	3.2%	96.8%	3.2%
30歳代	131	7.6%	92.4%	0.0%
40歳代	169	7.7%	92.3%	0.0%
50歳代	193	8.8%	91.2%	0.0%
60歳代	223	12.1%	12.1%	12.1%
70歳代	165	11.5%	87.9%	0.6%
80歳代	71	16.9%	81.7%	1.4%
職業別				
会社員	327	8.3%	91.7%	0.0%
自営業	69	11.6%	85.5%	2.9%
農林漁業	17	11.8%	88.2%	0.0%
公務員	53	17.0%	83.0%	0.0%
学生	27	0.0%	100.0%	0.0%
無職	389	10.5%	89.2%	0.3%
その他	159	8.8%	90.6%	0.6%
地区別				
東部	286	6.3%	93.4%	0.3%
西部	134	11.9%	88.1%	0.0%
中央	263	9.1%	90.1%	0.8%
南部	159	13.2%	86.8%	0.0%
北部	192	11.5%	88.0%	0.5%

【回答者の属性別にみた結果】

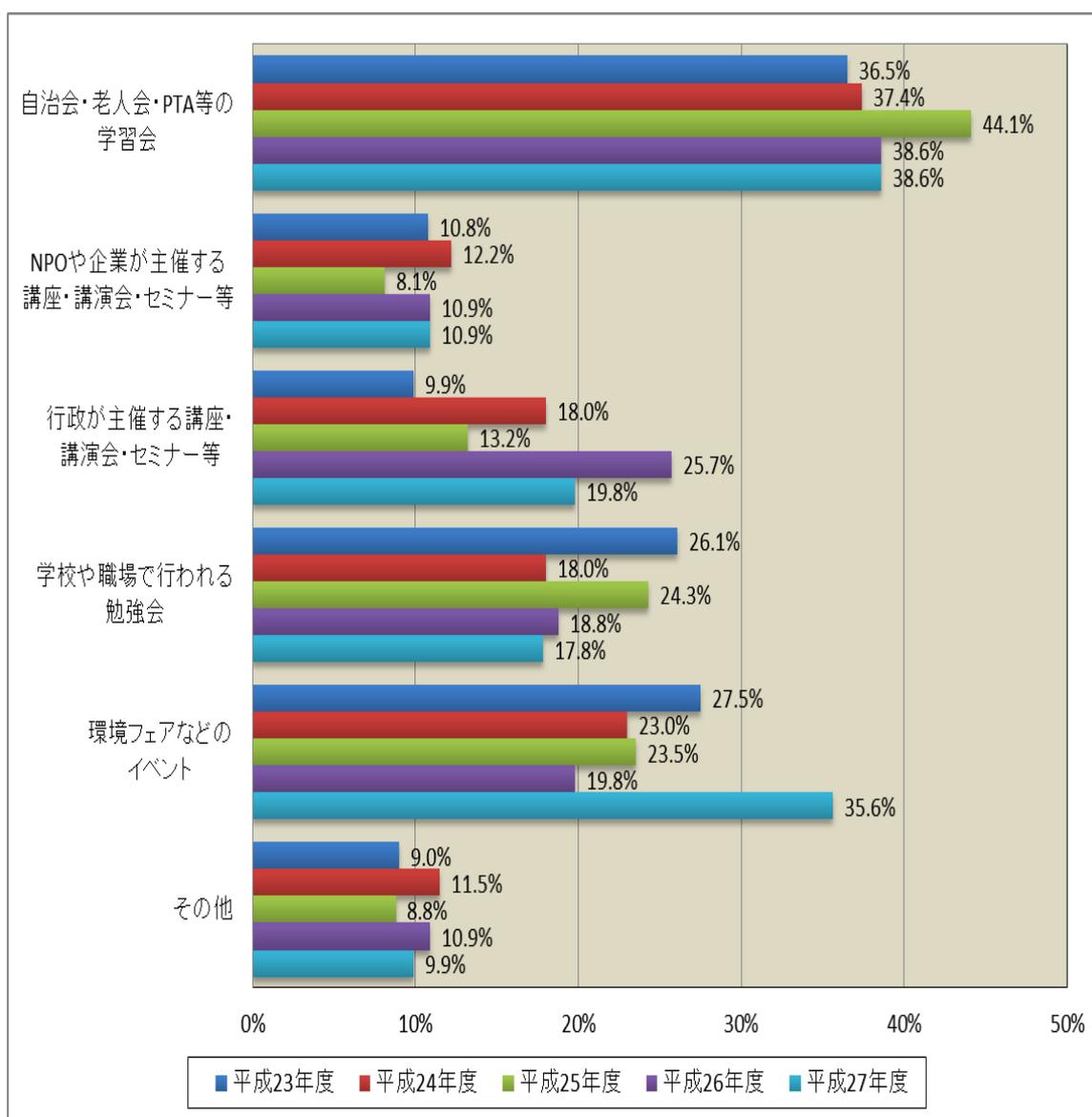
年代別では、「参加した」割合は80歳代が16.9%と最も高く、次いで60歳代(12.1%)、70歳代(11.5%)となっており、60歳代以上の世代が、それ以下の世代と比較して「参加した」結果が高くなっている。

地区別にみると、「参加した」割合は南部が13.2%と最も高く、次いで西部(11.9%)、北部(11.5%)となっている。

問2-1. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。
(複数回答可)

- ・「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が38.6%と最も高く、次いで「環境フェアなどのイベント」、「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」や「学校や職場で行われる勉強会」は、参加したと回答した割合が減少しているが、「環境フェアなどのイベント」は大幅に増加している。
- ・過去5年間の推移としては、5年連続で「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が最も高くなっており、次いで「環境フェアなどのイベント」の割合が大きく増加している。一方で「学校や職場で行われる勉強会」などに参加した割合は、年々減少傾向にある。



■属性別結果

	合計	自治会・老人会・PTA等の学習会	NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等	行政が主催する講座・講演会・セミナー等	学校や職場で行われる勉強会	環境フェアなどのイベント	その他
全体	101	38.6%	10.9%	19.8%	17.8%	35.6%	9.9%
性別							
男性	43	34.9%	20.9%	16.3%	11.6%	32.6%	16.3%
女性	57	40.4%	3.5%	22.8%	22.8%	38.6%	5.3%
年代別							
20歳代	3	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
30歳代	10	20.0%	20.0%	10.0%	60.0%	40.0%	0.0%
40歳代	13	7.7%	7.7%	46.2%	15.4%	15.4%	15.4%
50歳代	17	23.5%	0.0%	0.0%	35.3%	52.9%	17.6%
60歳代	27	37.0%	22.2%	25.9%	7.4%	33.3%	11.1%
70歳代	19	68.4%	0.0%	21.1%	0.0%	36.8%	5.3%
80歳代	12	75.0%	8.3%	8.3%	0.0%	33.3%	8.3%
職業別							
会社員	27	22.2%	14.8%	11.1%	29.6%	44.4%	14.8%
自営業	8	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	37.5%	25.0%
農林漁業	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
公務員	9	0.0%	22.2%	33.3%	44.4%	44.4%	0.0%
学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	41	63.4%	7.3%	14.6%	0.0%	31.7%	7.3%
その他	14	35.7%	7.1%	28.6%	35.7%	21.4%	7.1%
地区別							
東部	18	50.0%	11.1%	16.7%	5.6%	27.8%	11.1%
西部	16	50.0%	12.5%	12.5%	18.8%	37.5%	6.3%
中央	24	29.2%	12.5%	25.0%	16.7%	29.2%	20.8%
南部	21	38.1%	0.0%	19.0%	28.6%	38.1%	0.0%
北部	22	31.8%	18.2%	22.7%	18.2%	45.5%	9.1%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると「NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等」の割合は、男性が女性を17.4ポイント上回っているが、他の「自治会・老人会・PTA等の学習会」等の項目の割合は全て女性が男性を上回る結果が出ている。

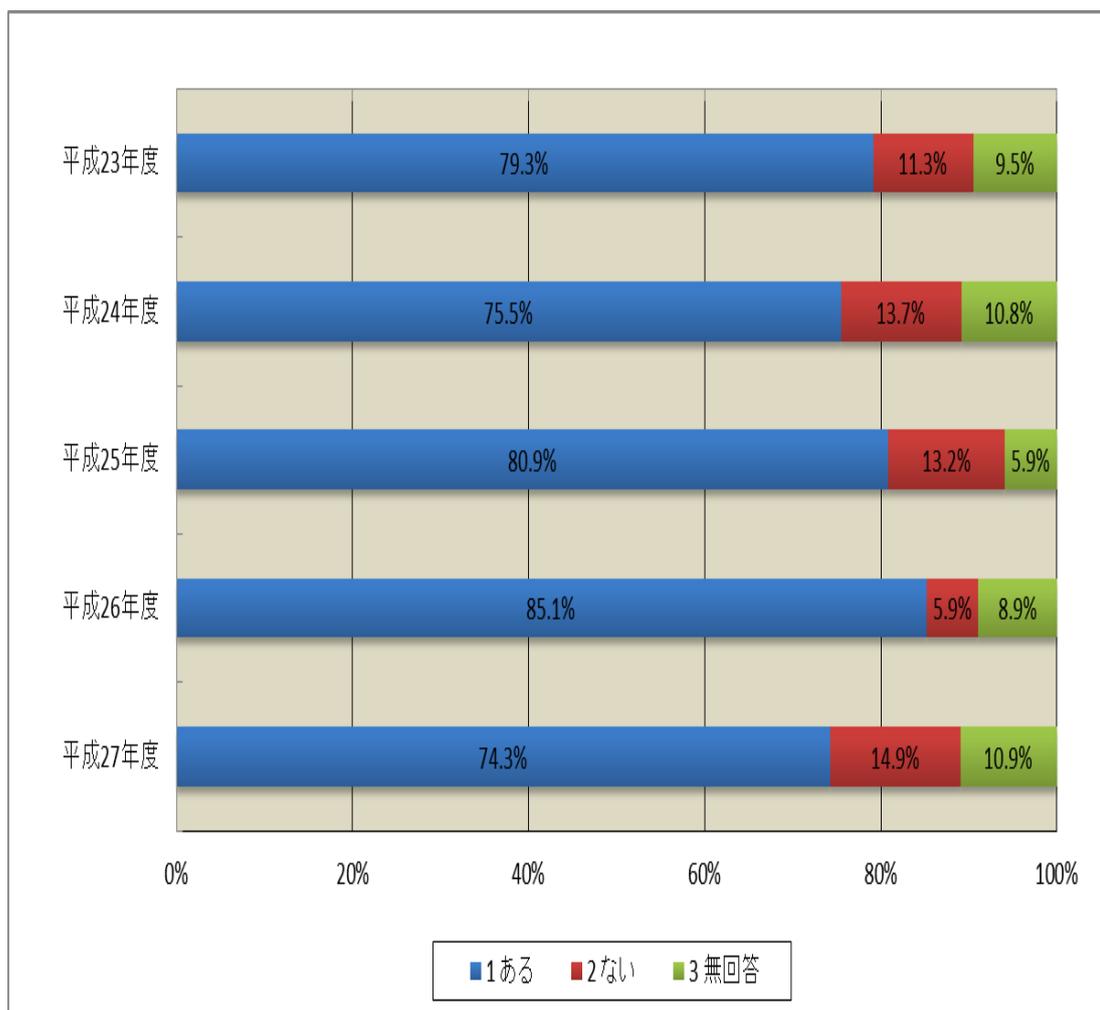
◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・学校の緑のカーテン ・生ごみ処理 ・ダンボールコンポスト ・町内の清掃活動 ・山岳会の清掃登山
- ・阿蘇の棚田の田植え ・稲刈り ・阿蘇の草刈 ・グリーンストック ・野焼きボランティア など

問2-2. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。(1つだけ)

- ・今回調査では、「ある」と回答した人の割合が74.3%と「ない」を大きく上回った。
- ・前回調査と比較すると、「ある」の割合は10.8ポイント減少している。
- ・過去5年間の推移としては、「参加した」と回答したうちの7割から8割の方が、参加したことによって何らかの環境保全行動を実践するようになったと回答しており、環境について学ぶ機会の拡充が、環境行動の実践につながっていることがうかがえる。



■属性別回答

	合計	ある	ない	無回答
全体	101	74.3%	14.9%	10.9%
性別				
男性	43	74.4%	18.6%	7.0%
女性	57	75.4%	12.3%	12.3%
年代別				
20歳代	3	33.3%	33.3%	33.3%
30歳代	10	80.0%	20.0%	0.0%
40歳代	13	53.8%	46.2%	0.0%
50歳代	17	76.5%	5.9%	17.6%
60歳代	27	81.5%	11.1%	7.4%
70歳代	19	73.7%	5.3%	21.1%
80歳代	12	83.3%	8.3%	8.3%
職業別				
会社員	27	70.4%	22.2%	7.4%
自営業	8	75.0%	25.0%	0.0%
農林漁業	2	100.0%	0.0%	0.0%
公務員	9	88.9%	11.1%	0.0%
学生	0	0.0%	0.0%	0.0%
無職	41	73.2%	9.8%	17.1%
その他	14	71.4%	14.3%	14.3%
地区別				
東部	18	77.8%	16.7%	5.6%
西部	16	68.8%	12.5%	18.8%
中央	24	70.8%	25.0%	4.2%
南部	21	76.2%	4.8%	19.0%
北部	22	77.3%	13.6%	9.1%

【回答者の属性別にみた結果】

全体の7割以上が「ある」と回答しているものの、20歳代では33.3%、40歳代では46.2%が「ない」と回答している。

◆ 参考「ある」と答えた場合、実践している内容 ◆

- ・3R活動(ごみの減量、再利用、リサイクル) ・地域の美化活動(清掃、草取りなど)
- ・節水、節電行動 ・緑化活動 ・公共交通機関を使った通勤 ・野焼きボランティア など

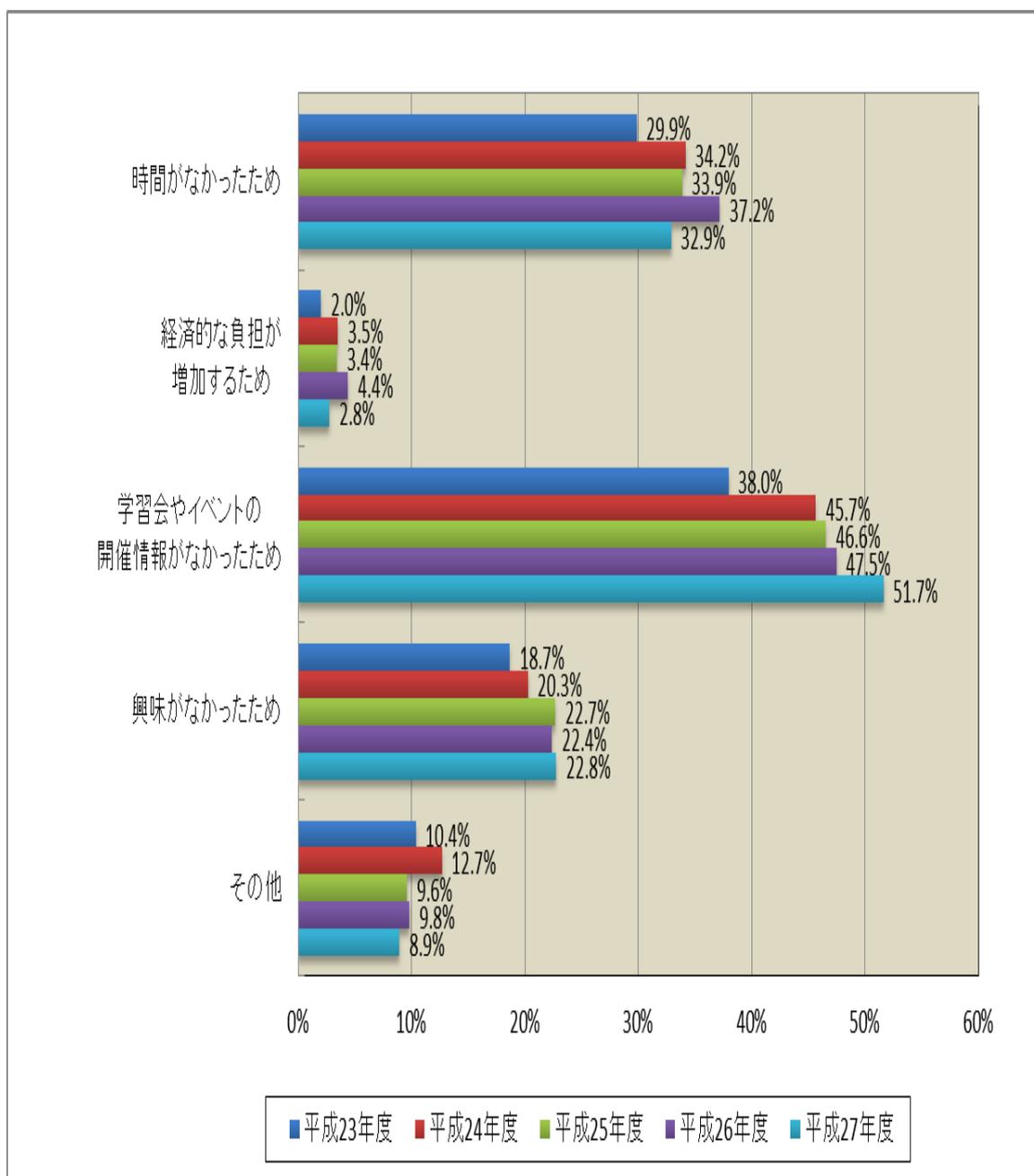
◆ 参考「ない」と答えた場合、実践していない内容 ◆

- ・美化清掃は日曜日に多く、仕事なので参加できない ・人間関係があまりよくない
- ・意識はあるけれど実践できていない など

問2-3. 問2で「参加していない」と答えられた方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- ・「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 51.7%と最も高く、次いで「時間がなかったため」(32.9%)、興味がなかったため(22.8%)となっている。
- ・前回調査と比較したが、順位や割合に大きな変化は見られない。
- ・過去5年間でみると、環境に関する学習会やイベントに参加しなかった理由としては、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が毎年増加傾向にあり、周知方法等にさらなる工夫が必要と考えられる。また、「時間がなかったため」という理由も毎年上位に挙がっている。



■ 属性別回答

	合計	め時間 がな かつ た	加 経 済 的 な 負 担 が 増	か の 学 習 会 や イ ベ ン ト の 開 催 情 報 が な か つ た た め	め興 味 が な か つ た	そ の 他
全体	944	32.9%	2.8%	51.7%	22.8%	8.9%
性別						
男性	400	29.0%	3.3%	56.5%	21.5%	6.5%
女性	540	36.1%	2.2%	48.3%	23.9%	10.6%
年代別						
20歳代	91	29.7%	2.2%	52.7%	40.7%	5.5%
30歳代	121	39.7%	3.3%	55.4%	28.1%	2.5%
40歳代	156	46.2%	2.6%	50.0%	23.7%	0.6%
50歳代	176	36.9%	1.1%	52.3%	20.5%	5.7%
60歳代	194	34.0%	2.1%	55.7%	18.0%	11.9%
70歳代	145	18.6%	6.2%	49.7%	17.9%	16.6%
80歳代	58	10.3%	0.0%	37.9%	17.2%	29.3%
職業別						
会社員	300	41.3%	1.7%	55.7%	22.7%	1.7%
自営業	59	35.6%	1.7%	61.0%	23.7%	6.8%
農林漁業	15	46.7%	6.7%	66.7%	13.3%	6.7%
公務員	44	52.3%	2.3%	34.1%	27.3%	0.0%
学生	27	40.7%	3.7%	55.6%	33.3%	11.1%
無職	347	19.3%	4.0%	50.1%	21.9%	15.9%
その他	144	38.9%	1.4%	48.6%	23.6%	8.3%
地区別						
東部	267	32.6%	1.5%	54.7%	24.3%	9.0%
西部	118	34.7%	4.2%	47.5%	24.6%	11.0%
中央	237	32.1%	2.5%	51.5%	22.4%	9.3%
南部	138	33.3%	3.6%	51.4%	20.3%	5.8%
北部	169	32.5%	3.6%	52.1%	21.3%	8.9%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合は、男性が女性を8.2ポイント上回っており、一方で、「時間がなかったため」の割合は、女性が男性を7.1ポイント上回っている。

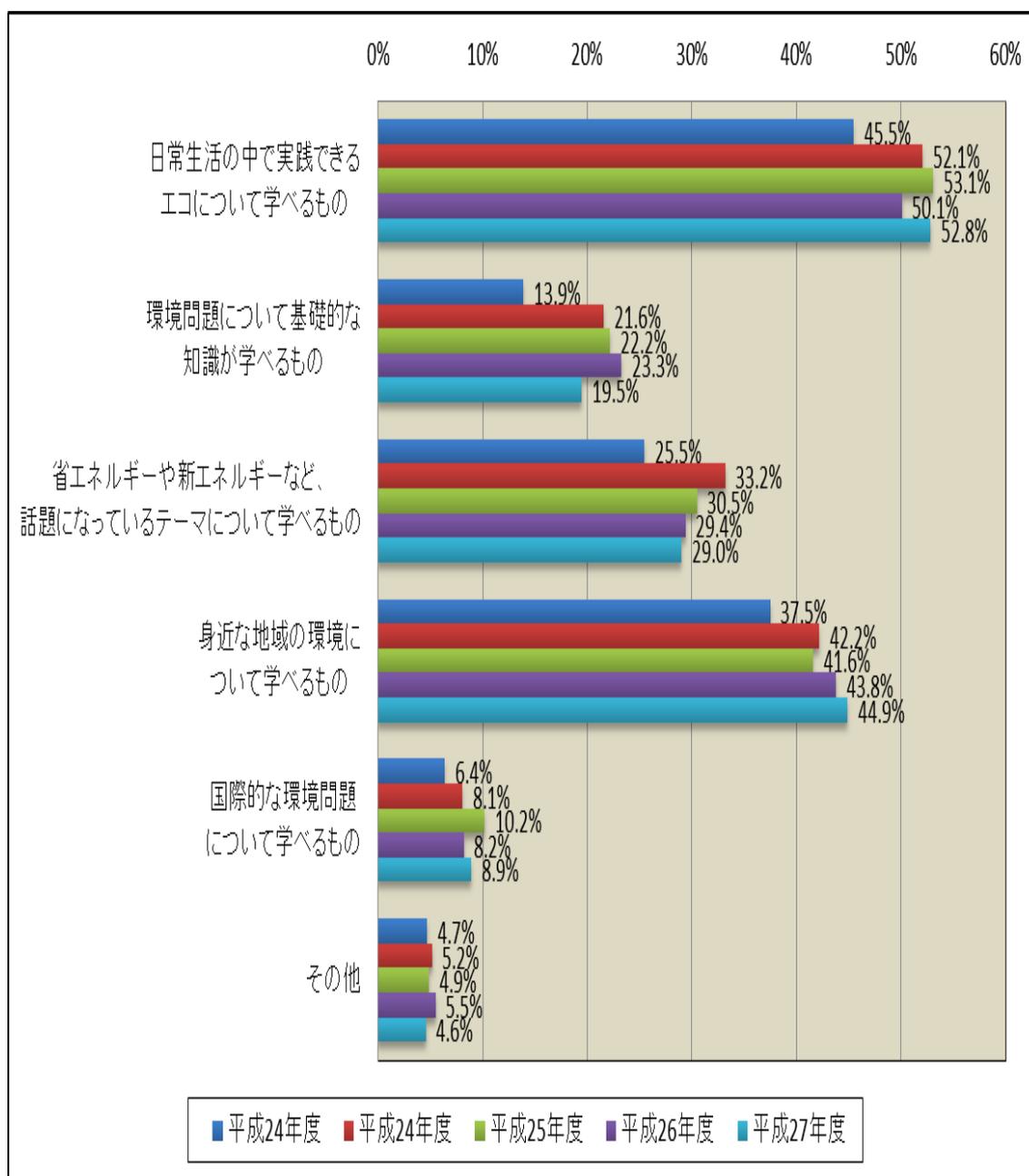
年代別では、全ての年代において「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が最も高くなっている一方、若年層ほど「興味がなかったため」の割合が高くなっている傾向も見られる。

◆ 参考「その他」の理由 ◆

・身体的理由(体が不自由など) ・年齢的理由(高齢のためなど) ・参加しづらさを感じたため(子ども連れには行きにくいなど) ・開催場所が遠かったため ・参加する意義を感じなかったため など

問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

- ・「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化は見られない。
- ・過去 5 年間の推移として、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や「身近な地域の環境について学べるもの」などが毎年上位を占めており、市民の生活に密着した内容のものが求められていることがうかがえる。



■属性別回答

	合計	実践できるエコについて学べるもの	日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの	環境問題に関する知識がいて	省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているもの	身近な地域の環境	国際的な環境問題	その他
全体	1,051	52.8%	19.5%	29.0%	44.9%	8.9%	4.6%	
性別								
男性	445	40.2%	19.3%	33.0%	48.3%	9.4%	6.3%	
女性	599	62.4%	19.9%	26.2%	42.9%	8.7%	3.3%	
年代別								
20歳代	94	61.7%	17.0%	26.6%	43.6%	12.8%	3.2%	
30歳代	131	58.0%	22.9%	35.9%	35.9%	9.9%	3.8%	
40歳代	169	56.8%	23.1%	28.4%	40.2%	8.9%	3.0%	
50歳代	193	56.0%	19.7%	37.8%	40.9%	13.0%	5.2%	
60歳代	223	50.2%	20.6%	30.0%	51.1%	9.9%	6.3%	
70歳代	165	46.1%	15.8%	17.6%	52.7%	1.8%	2.4%	
80歳代	71	38.0%	14.1%	22.5%	50.7%	5.6%	9.9%	
職業別								
会社員	327	54.1%	22.3%	36.7%	41.3%	8.6%	4.0%	
自営業	69	55.1%	21.7%	33.3%	47.8%	7.2%	5.8%	
農林漁業	17	41.2%	5.9%	17.6%	52.9%	0.0%	0.0%	
公務員	53	52.8%	18.9%	41.5%	49.1%	20.8%	3.8%	
学生	27	51.9%	14.8%	33.3%	48.1%	18.5%	3.7%	
無職	389	49.9%	18.3%	22.1%	48.6%	7.5%	6.2%	
その他	159	59.1%	18.9%	26.4%	41.5%	10.1%	2.5%	
地域別								
東部	286	54.2%	19.9%	28.7%	47.2%	9.1%	5.6%	
西部	134	46.3%	17.9%	28.4%	46.3%	11.9%	4.5%	
中央	263	51.0%	19.4%	30.4%	44.5%	8.7%	3.8%	
南部	159	52.8%	23.3%	26.4%	42.8%	7.5%	3.8%	
北部	192	59.4%	17.2%	30.2%	45.3%	8.3%	4.7%	

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」が、女性を 6.8 ポイント上回っている。一方で「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合は、女性が男性を 22.2 ポイント上回っている。

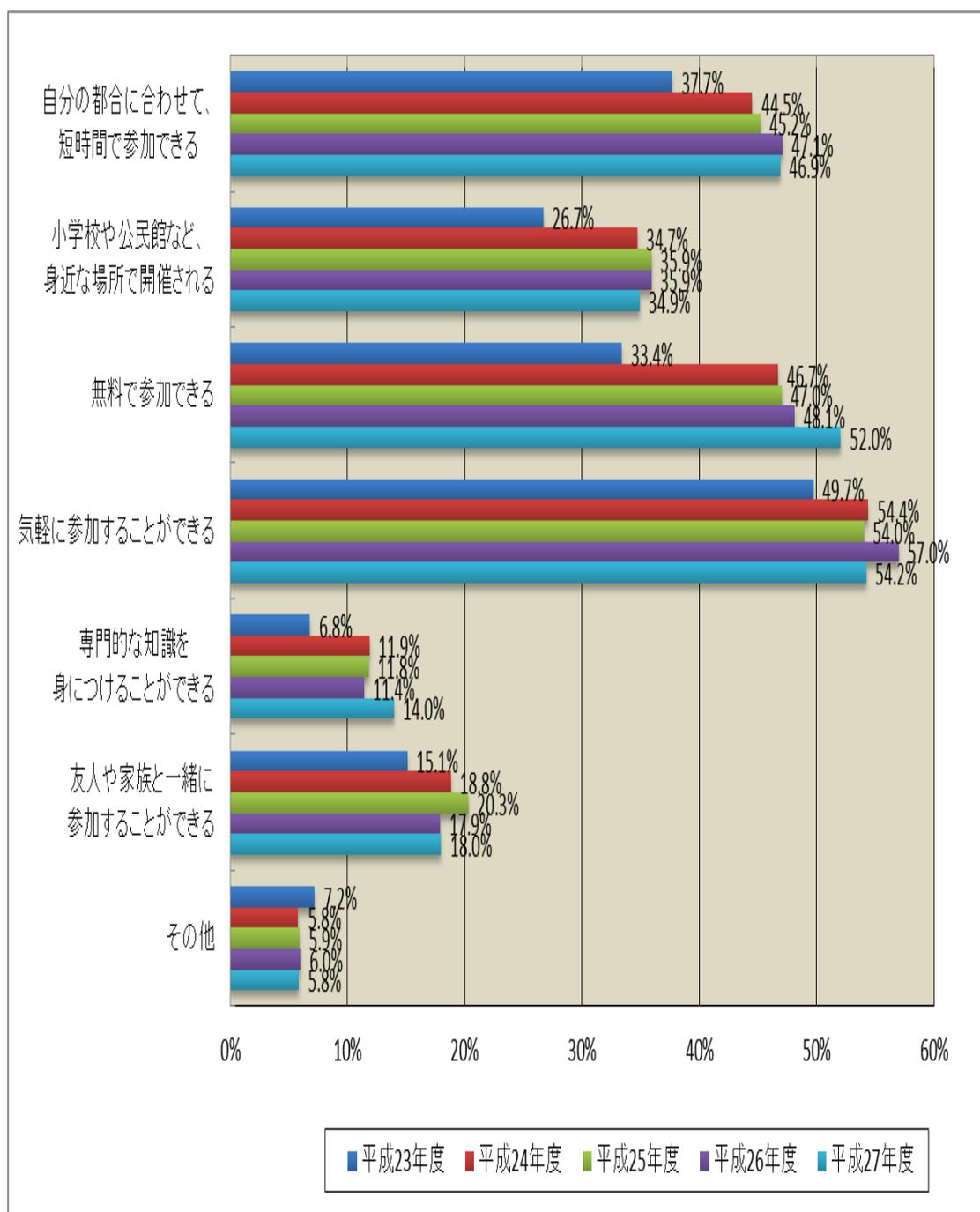
年代別では、20歳代から50歳代までは「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が最も高くなっており、60歳代以上になると「身近な地域の環境について学べるもの」の割合が最も高くなっている。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・節約術について
- ・エコな大掃除のやり方について
- ・放射能汚染が自然環境に与える影響の実態などに関することについて
- ・大気汚染について
- ・水資源について
- ・電気の売電について
- ・エコに協力できることについて
- ・耕作放棄地
- ・放置竹林について
- ・マンション乱立による日陰問題について
- ・熊本市での取組みについて
- ・熊本市が取り組む環境総合計画について など

問4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

- ・「気軽に参加することができる」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「無料で参加できる」「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化は見られない。
- ・過去 5 年間をみると、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できること」及び「無料で参加できること」などが年々増加傾向にあり、時間や金銭的な負担をかけずに、気軽に参加できるものが望まれていることがうかがえる。



■属性別回答

	合計	加せ自 ででの できる 短都 時合 間合 に合 参わ	開ど小 催、学 され身 れる近 るな 場公 館所 でな	無 料 で 参 加 で き る	と 気 が 軽 に 参 加 す る こ と	き に 専 門 的 な 知 識 が 身 に あ る	で に 友 人 や 家 族 と 一 緒 に 参 加 す る	そ の 他
全体	1,051	46.9%	34.9%	52.0%	54.2%	14.0%	18.0%	5.8%
性別								
男性	445	39.8%	34.2%	48.3%	52.4%	18.0%	14.6%	5.8%
女性	599	52.6%	35.7%	55.4%	56.1%	11.2%	20.7%	5.8%
年代別								
20歳代	94	53.2%	18.1%	70.2%	57.4%	16.0%	26.6%	8.5%
30歳代	131	59.5%	42.0%	67.2%	55.7%	21.4%	24.4%	6.9%
40歳代	169	51.5%	33.7%	66.3%	50.9%	14.8%	20.1%	7.1%
50歳代	193	57.0%	26.4%	53.9%	53.9%	16.6%	13.5%	4.1%
60歳代	223	40.8%	39.5%	47.1%	63.7%	12.1%	13.9%	4.0%
70歳代	165	32.7%	38.8%	30.3%	49.7%	7.3%	14.5%	4.2%
80歳代	71	31.0%	49.3%	31.0%	39.4%	11.3%	23.9%	11.3%
職業別								
会社員	327	54.4%	30.0%	59.3%	57.8%	19.3%	17.7%	5.2%
自営業	69	47.8%	39.1%	44.9%	43.5%	17.4%	14.5%	7.2%
農林漁業	17	35.3%	35.3%	23.5%	64.7%	17.6%	23.5%	5.9%
公務員	53	47.2%	24.5%	58.5%	52.8%	17.0%	18.9%	9.4%
学生	27	59.3%	18.5%	77.8%	59.3%	18.5%	18.5%	11.1%
無職	389	39.1%	39.1%	45.8%	52.7%	10.5%	18.3%	6.2%
その他	159	49.7%	40.9%	54.7%	56.6%	8.8%	18.9%	3.8%
地区別								
東部	286	44.4%	37.1%	54.5%	63.3%	12.2%	15.7%	5.6%
西部	134	49.3%	29.9%	49.3%	50.0%	14.9%	17.9%	5.2%
中央	263	49.0%	35.4%	53.2%	49.8%	16.0%	17.9%	5.7%
南部	159	47.8%	32.1%	50.9%	54.7%	15.1%	18.9%	5.7%
北部	192	44.8%	38.5%	49.0%	52.1%	11.5%	21.4%	7.3%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、女性の「無料で参加できる」の割合が、男性を 7.1 ポイント上回っている。

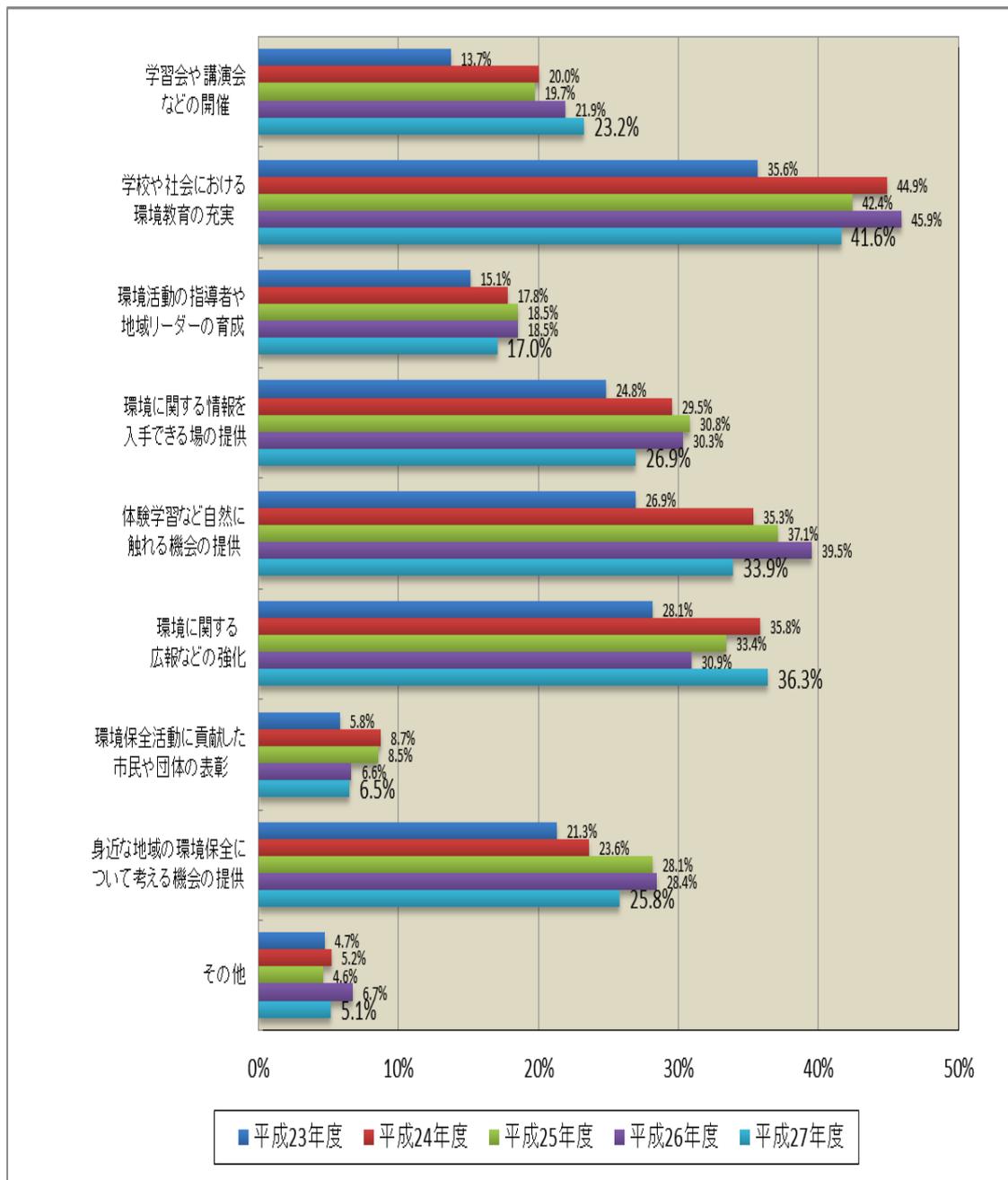
年代別では、若い世代になるほど「無料で参加できる」の割合が高くなっている。また、20歳代から60歳代では「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」や「気軽に参加することができる」の割合も比較的高い。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・託児所など子どもを預けられるサービスがあること
- ・ネットなどにより自宅等でも受講可能であること
- ・仕事があるので休日または平日夜間の開催であること
- ・実験などを交えた興味を持てる学習会であること(体験型のイベントであること)
- ・職場や地域に講師が出向き、出前講座を開催してもらうこと
- ・イベント内で様々なコーナーを作り気軽に参加できること
- ・年間の受講計画を示すこと など

問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- ・「学校や社会における環境教育の充実」の割合が 41.6%と最も高くなっている。次いで「環境に関する広報などの強化」、「体験学習など自然に触れる機会の提供」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「環境に関する広報などの強化」が増加し、反対に「体験学習など自然に触れる機会の提供」が減少している。
- ・過去5年間では、「学校や社会における環境教育の充実」、「体験学習など自然に触れる機会の提供」、「環境に関する広報の強化」などの項目が毎年度高くなっている。



■属性別回答

	合計	学習会や講演会など開催	学校や社会における環境教育の充実	環境活動の指導者育成	環境に関する情報提供	体験学習などの自然提供	環境の強化	環境保全活動への貢献	身近な地域の環境保全	その他
全体	1,051	23.2%	41.6%	17.0%	26.9%	33.9%	36.3%	6.5%	25.8%	5.1%
性別										
男性	445	25.4%	35.1%	19.3%	30.3%	29.0%	38.7%	7.0%	28.1%	6.5%
女性	599	21.9%	46.7%	15.5%	24.5%	37.7%	34.7%	6.2%	24.2%	4.2%
年代別										
20歳代	94	18.1%	42.6%	14.9%	34.0%	43.6%	37.2%	10.6%	21.3%	8.5%
30歳代	131	22.1%	54.2%	18.3%	28.2%	48.9%	32.8%	12.2%	21.4%	3.8%
40歳代	169	22.5%	47.3%	11.8%	26.0%	40.2%	33.7%	7.1%	19.5%	7.1%
50歳代	193	26.4%	45.6%	18.7%	28.0%	31.6%	41.5%	6.7%	26.9%	3.6%
60歳代	223	23.8%	39.5%	18.8%	28.7%	34.1%	40.8%	3.1%	33.6%	5.4%
70歳代	165	24.8%	27.3%	16.4%	21.2%	16.4%	29.7%	3.6%	24.8%	3.6%
80歳代	71	21.1%	33.8%	22.5%	22.5%	26.8%	35.2%	5.6%	31.0%	5.6%
職業別										
会社員	327	24.8%	46.8%	15.0%	32.4%	37.3%	41.3%	7.0%	21.4%	4.9%
自営業	69	18.8%	31.9%	20.3%	18.8%	31.9%	37.7%	4.3%	33.3%	13.0%
農林漁業	17	11.8%	47.1%	23.5%	17.6%	41.2%	17.6%	5.9%	11.8%	0.0%
公務員	53	28.3%	45.3%	17.0%	20.8%	41.5%	30.2%	15.1%	24.5%	7.5%
学生	27	22.2%	51.9%	14.8%	33.3%	44.4%	33.3%	14.8%	25.9%	11.1%
無職	389	22.4%	34.4%	19.0%	22.6%	29.6%	35.2%	4.1%	28.8%	4.1%
その他	159	23.9%	49.7%	14.5%	32.7%	34.0%	33.3%	8.2%	27.7%	3.8%
地区別										
東部	286	23.8%	41.3%	16.1%	24.5%	36.7%	40.9%	4.5%	26.2%	3.8%
西部	134	21.6%	40.3%	15.7%	29.1%	29.1%	36.6%	5.2%	25.4%	5.2%
中央	263	23.2%	41.4%	16.7%	30.8%	33.1%	33.5%	9.1%	30.4%	5.7%
南部	159	22.6%	39.6%	15.7%	27.7%	32.7%	37.1%	6.9%	24.5%	4.4%
北部	192	25.0%	44.8%	21.4%	22.9%	36.5%	33.3%	6.8%	21.9%	7.3%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、「環境に関する情報提供を入手できる場の提供」の割合は、男性が女性より 5.8 ポイント高く、一方で「学校や社会における環境教育の充実」の割合は、女性が男性を 11.6 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～50 歳代では「学校や社会における環境教育の充実」の割合が他の項目と比較して最も高くなっているのに対し、60 歳代以上では「環境に関する広報などの強化」の割合が他の項目と比較して最も高くなっている。

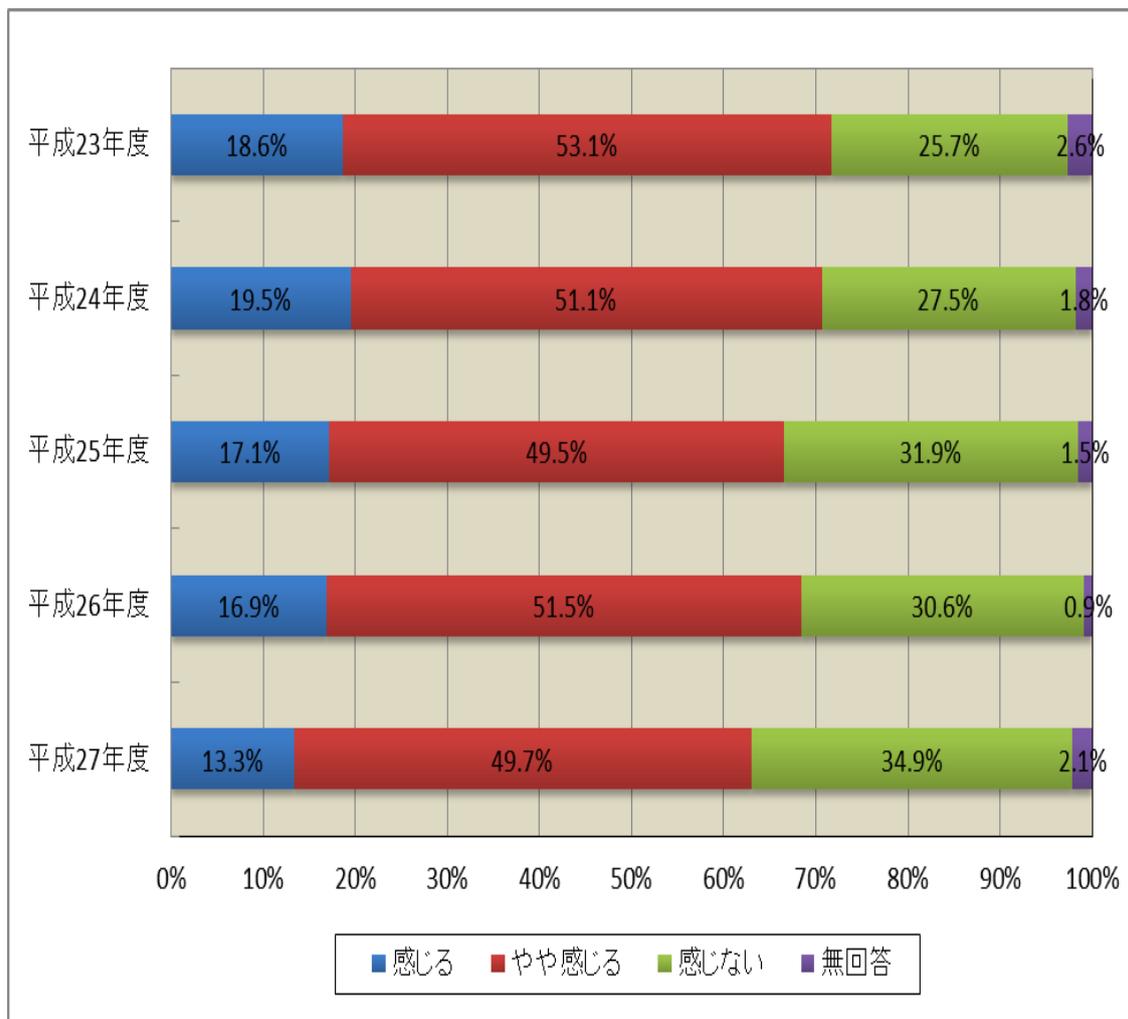
◆ 参考「その他」の内容 ◆

・誰にでもわかりやすい学習会 ・目につきやすい場所での環境美化事業、環境保全事業を行う ・環境活動の実績を共有する仕組みが必要である ・環境が悪化している状況などを示す必要がある ・(幼児からなど)早期(環境)教育の充実を図る ・環境保全貢献度が高い地区への優遇措置を行う ・企業との協力、タイアップを図る ・市政だよりや情報誌等にマンガなど読みやすい方法で広報する ・環境に興味のない人にも目に付くような場所(お店・街角)において啓発ビデオを放映する など

問6～12「まちづくりプロジェクト」について

問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

- ・「やや感じる」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「感じない」が 34.9%、「感じる」が 13.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「やや感じる」と「感じる」の割合を合わせると 63.0%で、5.4 ポイント減少している。
- ・過去 5 年間の推移をみると、平成 23 年度は、「感じる」と「やや感じる」と回答したのは 71.7%に対し、最新の平成 27 年度では、63.0%と若干減少している。



■属性別回答

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,051	13.3%	49.7%	34.9%	2.1%
性別					
男性	445	9.9%	49.0%	39.6%	1.6%
女性	599	15.9%	50.4%	31.6%	2.2%
年代別					
20歳代	94	7.4%	44.7%	47.9%	0.0%
30歳代	131	8.4%	50.4%	41.2%	0.0%
40歳代	169	8.3%	52.7%	37.9%	1.2%
50歳代	193	11.4%	47.7%	39.4%	1.6%
60歳代	223	17.5%	47.5%	34.1%	0.9%
70歳代	165	18.8%	58.8%	17.6%	4.8%
80歳代	71	22.5%	39.4%	31.0%	7.0%
職業別					
会社員	327	11.0%	48.3%	40.1%	0.6%
自営業	69	13.0%	52.2%	34.8%	0.0%
農林漁業	17	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%
公務員	53	11.3%	52.8%	35.8%	0.0%
学生	27	11.1%	40.7%	48.1%	0.0%
無職	389	16.7%	48.3%	31.1%	3.9%
その他	159	11.3%	53.5%	33.3%	1.9%
地区別					
東部	286	11.9%	50.7%	36.4%	1.0%
西部	134	15.7%	50.7%	31.3%	2.2%
中央	263	10.6%	47.5%	38.8%	3.0%
南部	159	18.9%	50.9%	28.9%	1.3%
北部	192	13.5%	48.4%	35.9%	2.1%

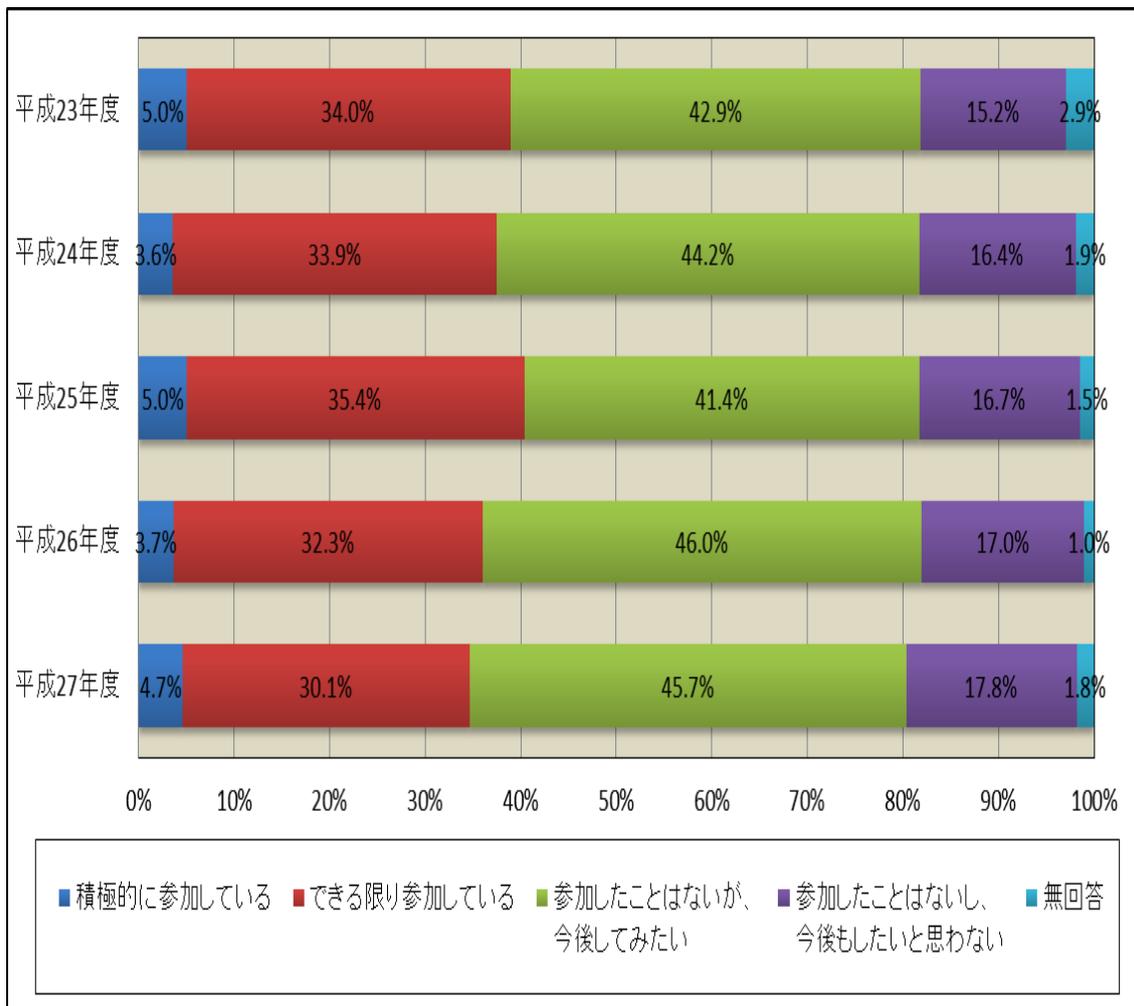
【回答者の属性別にみた結果】

年代別でみると、「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、70歳代が77.6%と最も高く、次いで60歳代、80歳代となっている。

地区別でみると、「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、南部が69.8%と最も高く、次いで西部(66.4%)、東部(62.6%)となっている。

問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- ・「参加したことはないが、今後してみたい」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「できる限り参加している」、「参加したことはない、今後もしたいと思わない」となっている。
- ・前回調査を比較すると、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」の割合を合わせると 34.8%で、1.2 ポイント減少している。
- ・過去 5 年間の推移で見ると、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」の割合は微減となっているが、「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した割合を含めると、調査開始年度から毎年度 8 割以上を占めており、市民の環境保全活動への関心の高さがうかがえる。



■属性別回答

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加したいが、今後とはみな	参加したと思わない	参加したことはなし	無回答
全体	1,051	4.7%	30.1%	45.7%	17.8%	1.8%	
性別							
男性	445	4.9%	24.7%	50.3%	18.9%	1.1%	
女性	599	4.5%	34.2%	42.6%	16.7%	2.0%	
年代別							
20歳代	94	1.1%	5.3%	60.6%	30.9%	2.1%	
30歳代	131	1.5%	16.0%	63.4%	19.1%	0.0%	
40歳代	169	4.1%	33.1%	43.2%	18.9%	0.6%	
50歳代	193	4.1%	26.9%	51.3%	17.1%	0.5%	
60歳代	223	4.0%	42.6%	39.5%	12.6%	1.3%	
70歳代	165	9.1%	37.6%	37.6%	12.7%	3.0%	
80歳代	71	9.9%	35.2%	23.9%	23.9%	7.0%	
職業別							
会社員	327	2.4%	23.2%	53.2%	20.5%	0.6%	
自営業	69	7.2%	26.1%	50.7%	14.5%	1.4%	
農林漁業	17	5.9%	41.2%	41.2%	5.9%	5.9%	
公務員	53	3.8%	28.3%	52.8%	13.2%	1.9%	
学生	27	0.0%	7.4%	51.9%	40.7%	0.0%	
無職	389	6.7%	36.5%	36.2%	17.5%	3.1%	
その他	159	4.4%	34.0%	50.3%	11.3%	0.0%	
地区別							
東部	286	2.1%	28.0%	49.7%	18.9%	1.4%	
西部	134	5.2%	31.3%	42.5%	18.7%	2.2%	
中央	263	4.2%	22.1%	54.0%	18.3%	1.5%	
南部	159	9.4%	36.5%	32.7%	18.9%	2.5%	
北部	192	5.2%	38.5%	42.2%	13.0%	1.0%	

【回答者の属性別による結果】

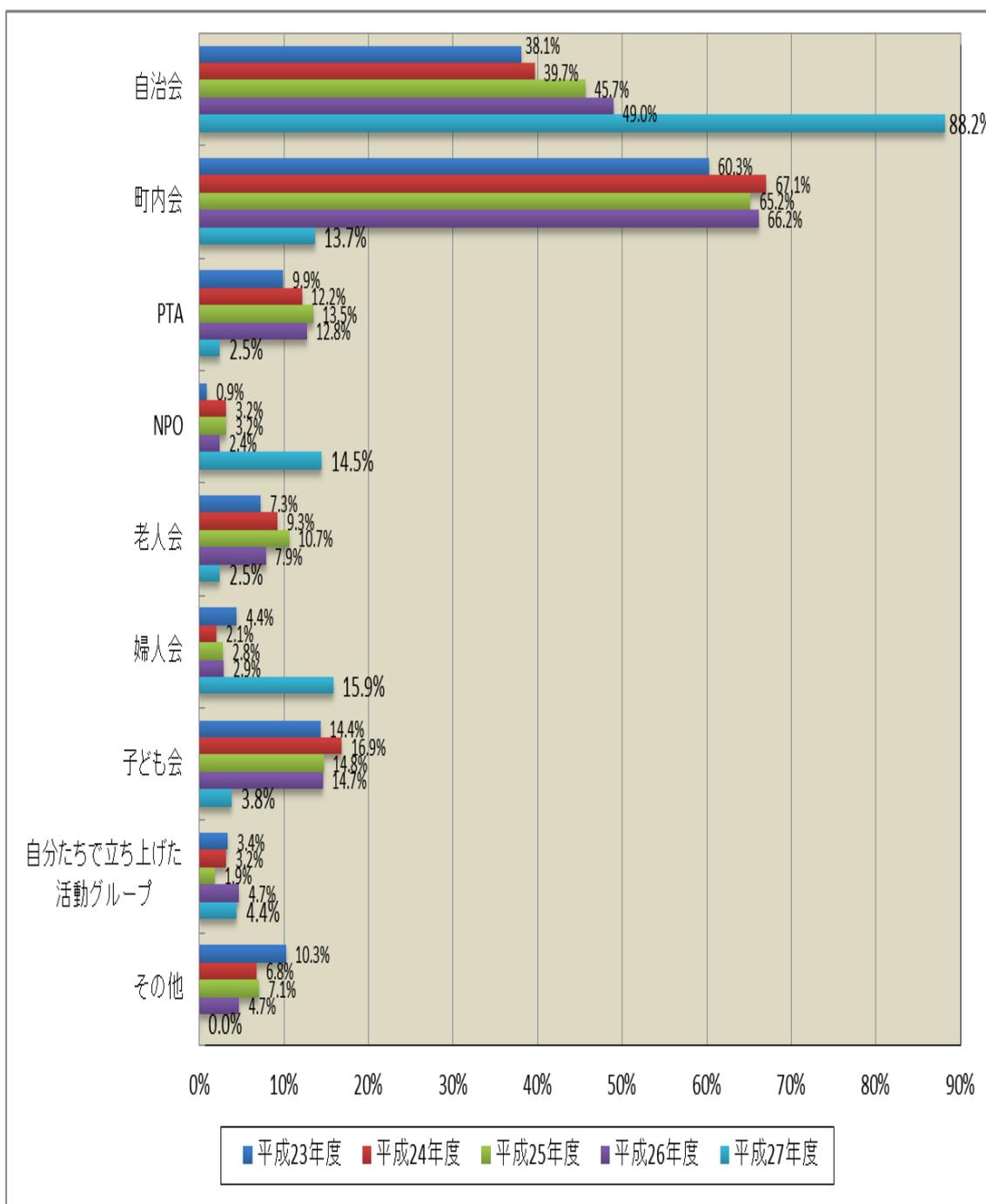
「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は年代別にみると、70歳代が46.7%と最も高く、次いで60歳代、80歳代となっている。また、若年層の30歳代では17.5%、20歳代では6.4%と他の年代と比較しても明らかに低い割合となっている。

地区別にみると、南部や北部で4割を超えているのに対し、中央や東部と3割程度にとどまっている。

問7-1. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- ・「自治会」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「婦人会」、「NPO」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「自治会」、「NPO」及び「婦人会」の割合が大きく増加している。
- ・過去 5 年間の推移をみると、「自治会」、「町内会」などが多く、地域に密着した団体で、日常生活に即した活動をしている市民が多いことがうかがえる



■属性別回答

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで活動グループ 立ち上げ	その他
全体	365	88.2%	13.7%	2.5%	14.5%	2.5%	15.9%	3.8%	4.4%	0.0%
性別										
男性	132	86.4%	7.6%	4.5%	16.7%	0.0%	10.6%	6.1%	9.1%	0.0%
女性	232	89.2%	17.2%	1.3%	13.4%	3.9%	19.0%	2.6%	1.7%	0.0%
年代別										
20歳代	6	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
30歳代	23	69.6%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	56.5%	0.0%	4.3%	0.0%
40歳代	63	88.9%	34.9%	3.2%	1.6%	0.0%	33.3%	3.2%	3.2%	0.0%
50歳代	60	91.7%	21.7%	3.3%	3.3%	1.7%	11.7%	3.3%	1.7%	0.0%
60歳代	104	90.4%	2.9%	3.8%	8.7%	3.8%	7.7%	3.8%	5.8%	0.0%
70歳代	77	90.9%	3.9%	0.0%	32.5%	5.2%	7.8%	5.2%	6.5%	0.0%
80歳代	32	87.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%
職業別										
会社員	84	83.3%	20.2%	4.8%	2.4%	0.0%	23.8%	2.4%	4.8%	0.0%
自営業	23	91.3%	8.7%	4.3%	4.3%	0.0%	8.7%	8.7%	13.0%	0.0%
農林漁業	8	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
公務員	17	88.2%	47.1%	17.6%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	168	89.3%	6.0%	0.6%	26.2%	4.2%	10.7%	3.0%	4.8%	0.0%
その他	61	91.8%	21.3%	0.0%	4.9%	3.3%	19.7%	4.9%	1.6%	0.0%
地区別										
東部	86	94.2%	9.3%	0.0%	11.6%	5.8%	9.3%	2.3%	3.5%	0.0%
西部	49	89.8%	12.2%	4.1%	20.4%	2.0%	22.4%	0.0%	6.1%	0.0%
中央	69	76.8%	15.9%	2.9%	13.0%	0.0%	11.6%	10.1%	8.7%	0.0%
南部	73	87.7%	11.0%	1.4%	15.1%	4.1%	20.5%	2.7%	1.4%	0.0%
北部	84	92.9%	19.0%	4.8%	14.3%	0.0%	17.9%	2.4%	3.6%	0.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、「NPO」の割合は、男性が女性を3.3ポイント上回っている一方、「町内会」の割合は、女性が男性を9.6ポイント上回っている。

年代別で見ると、20歳代では、他の年代と比較して「PTA」及び「子ども会」の割合が高くなっている。

地区別では、東部での「自治会」の割合が94.2%と、他の地区と比較して高くなっている。

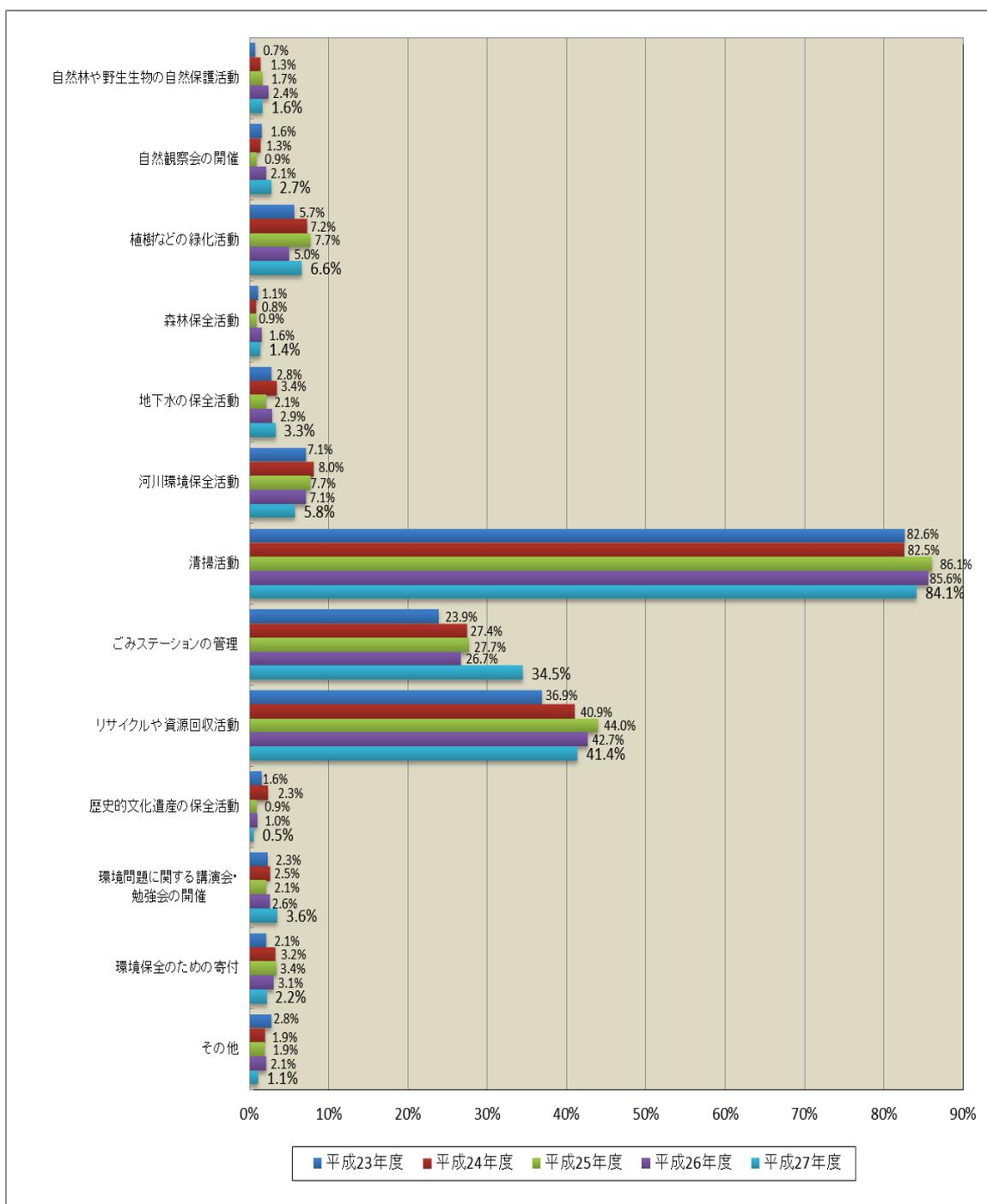
◆ 参考「その他」の内容 ◆

・勤務先 ・商店街、商工会活動 ・環境省自然公園指導員 ・熊本県自然ふれあい指導員 など

問7-2. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- ・「清掃活動」の割合が 84.1%と最も高く、次いで「リサイクルや資源活動」、「ごみステーションの管理」となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位・割合ともに大きな変化は見られない。
- ・過去 5 年間をみても、「清掃活動」、「ごみステーションの管理」、「リサイクルや資源回収活動」が圧倒的に多い。



■属性別回答

	合計	の自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化的遺産の保全活動	環境問題に関する講演会・勉強会	環境保全のための寄付	その他
全体	365	1.6%	2.7%	6.6%	1.4%	3.3%	5.8%	84.1%	34.5%	41.4%	0.5%	3.6%	2.2%	1.1%
性別														
男性	132	3.0%	4.5%	3.0%	2.3%	7.6%	10.6%	81.1%	27.3%	31.8%	0.8%	4.5%	4.5%	1.5%
女性	232	0.9%	1.7%	8.2%	0.9%	0.9%	3.0%	85.8%	38.8%	47.0%	0.4%	3.0%	0.9%	0.9%
年代別														
20歳代	6	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
30歳代	23	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	78.3%	43.5%	47.8%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%
40歳代	63	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	84.1%	31.7%	54.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
50歳代	60	1.7%	1.7%	8.3%	0.0%	3.3%	6.7%	85.0%	35.0%	43.3%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%
60歳代	104	4.8%	7.7%	2.9%	1.9%	7.7%	8.7%	81.7%	33.7%	36.5%	0.0%	6.7%	2.9%	1.0%
70歳代	77	0.0%	0.0%	7.8%	2.6%	1.3%	5.2%	88.3%	35.1%	31.2%	2.6%	0.0%	1.3%	1.3%
80歳代	32	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%	3.1%	3.1%	84.4%	34.4%	50.0%	0.0%	6.3%	6.3%	3.1%
職業別														
会社員	84	1.2%	0.0%	4.8%	1.2%	4.8%	6.0%	79.8%	39.3%	40.5%	0.0%	1.2%	2.4%	1.2%
自営業	23	4.3%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	17.4%	82.6%	26.1%	34.8%	0.0%	21.7%	13.0%	0.0%
農林漁業	8	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	17	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	88.2%	23.5%	35.3%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
学生	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	168	1.2%	3.6%	6.5%	0.6%	2.4%	5.4%	86.3%	35.1%	41.1%	1.2%	1.8%	1.8%	1.8%
その他	61	1.6%	0.0%	9.8%	1.6%	1.6%	3.3%	85.2%	36.1%	45.9%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
地区別														
東部	86	2.3%	3.5%	3.5%	2.3%	2.3%	3.5%	89.5%	43.0%	41.9%	0.0%	3.5%	2.3%	1.2%
西部	49	2.0%	2.0%	8.2%	0.0%	2.0%	8.2%	79.6%	32.7%	42.9%	2.0%	4.1%	2.0%	0.0%
中央	69	2.9%	2.9%	5.8%	1.4%	2.9%	2.9%	85.5%	27.5%	39.1%	0.0%	4.3%	4.3%	2.9%
南部	73	0.0%	2.7%	9.6%	1.4%	1.4%	11.0%	86.3%	32.9%	27.4%	0.0%	2.7%	1.4%	0.0%
北部	84	1.2%	2.4%	6.0%	1.2%	7.1%	3.6%	78.6%	35.7%	52.4%	1.2%	3.6%	1.2%	1.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、女性の「リサイクルや資源回収活動」の割合が、男性を15.2ポイント上回っている。

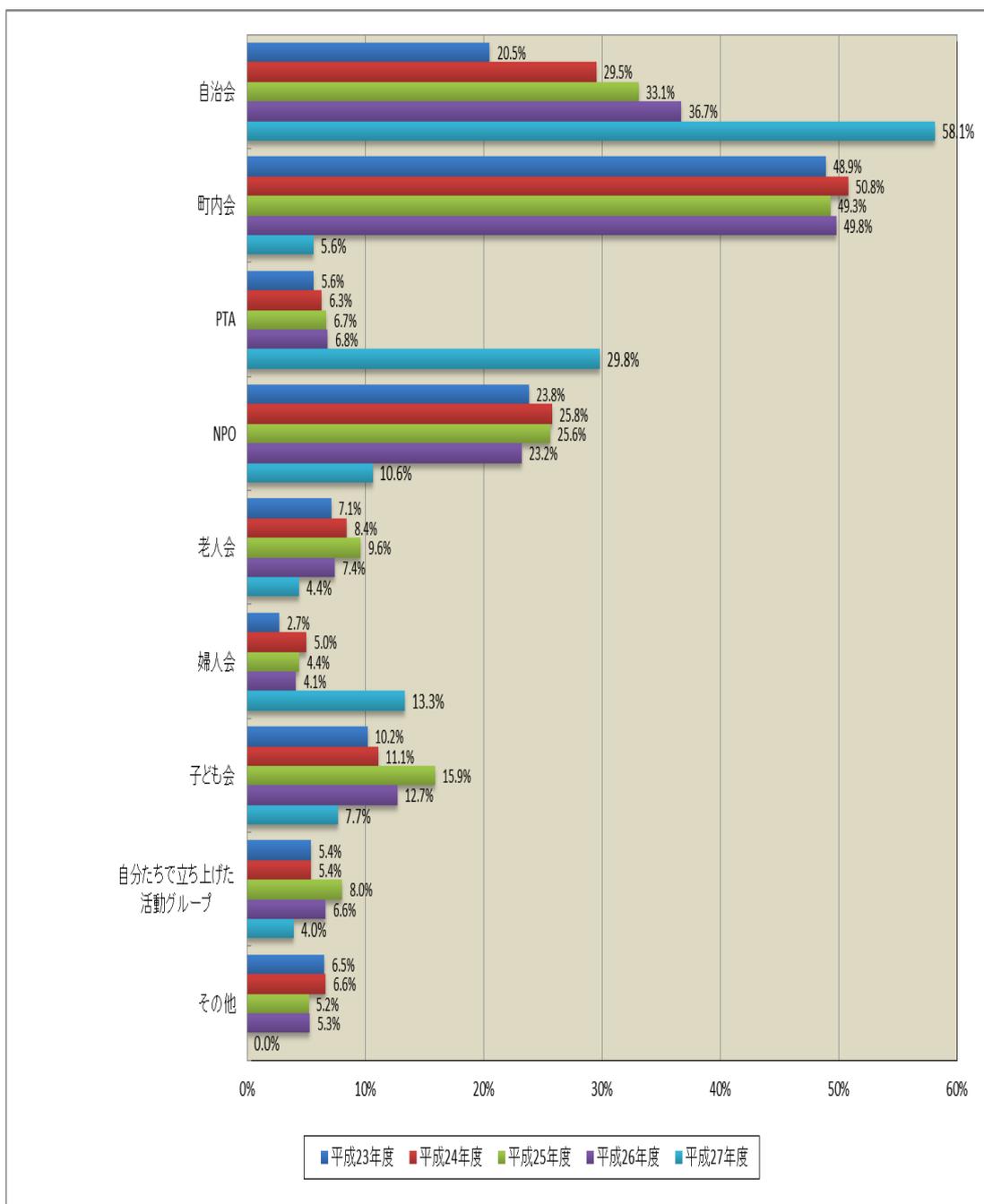
年代別にみると、30歳代では「ごみステーションの管理」の割合が、他の年代と比較して高くなっており、一方60歳代では「地下水の保全活動」や「自然観察会の開催」の割合が高くなっている。

地区別にみると、北部では「リサイクルや資源回収活動」の割合が52.4%と、他の地区と比較して高くなっている。

問7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- ・「自治会」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「PTA」、「婦人会」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「自治会」、「PTA」、「婦人会」の前年度に対する伸び率が
高く、反対に「町内会」、「NPO」、「子ども会」の割合が減少している。
- ・また、過去 5 年間の推移をみると、「自治会」が毎年度割合が伸びている傾向にあ
る。



■属性別回答

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たち 活動で グループ 立ち上 げ	その他
全体	480	58.1%	5.6%	29.8%	10.6%	4.4%	13.3%	7.7%	4.0%	0.0%
性別										
男性	224	61.6%	5.8%	32.1%	15.2%	0.4%	8.5%	9.4%	4.0%	0.0%
女性	255	55.3%	5.5%	27.8%	6.7%	7.8%	17.6%	6.3%	3.9%	0.0%
年代別										
20歳代	57	59.6%	3.5%	31.6%	3.5%	0.0%	21.1%	8.8%	5.3%	0.0%
30歳代	83	51.8%	18.1%	24.1%	2.4%	3.6%	38.6%	7.2%	2.4%	0.0%
40歳代	73	39.7%	9.6%	42.5%	1.4%	4.1%	12.3%	8.2%	4.1%	0.0%
50歳代	99	62.6%	2.0%	34.3%	3.0%	6.1%	6.1%	13.1%	4.0%	0.0%
60歳代	88	70.5%	0.0%	34.1%	11.4%	4.5%	2.3%	3.4%	6.8%	0.0%
70歳代	62	64.5%	0.0%	12.9%	37.1%	1.6%	3.2%	6.5%	0.0%	0.0%
80歳代	17	52.9%	5.9%	5.9%	58.8%	23.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%
職業別										
会社員	174	55.2%	8.0%	34.5%	5.2%	1.7%	14.4%	9.8%	5.7%	0.0%
自営業	35	54.3%	11.4%	28.6%	11.4%	8.6%	11.4%	14.3%	2.9%	0.0%
農林漁業	7	71.4%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
公務員	28	60.7%	0.0%	25.0%	3.6%	0.0%	17.9%	0.0%	7.1%	0.0%
学生	14	50.0%	0.0%	42.9%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
無職	141	60.3%	2.1%	22.7%	24.8%	8.5%	12.1%	6.4%	2.8%	0.0%
その他	80	62.5%	7.5%	30.0%	1.3%	3.8%	12.5%	3.8%	2.5%	0.0%
地区別										
東部	142	58.5%	9.2%	31.0%	7.0%	7.7%	12.7%	8.5%	1.4%	0.0%
西部	57	49.1%	7.0%	38.6%	8.8%	3.5%	10.5%	17.5%	3.5%	0.0%
中央	142	58.5%	2.8%	30.3%	12.0%	3.5%	9.9%	4.9%	4.2%	0.0%
南部	52	67.3%	1.9%	23.1%	9.6%	1.9%	21.2%	5.8%	7.7%	0.0%
北部	81	55.6%	6.2%	25.9%	17.3%	2.5%	17.3%	6.2%	6.2%	0.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「NPO」の割合が、女性を8.5ポイント上回っている。

年代別では、60～80歳代では「NPO」の割合が他の年代と比較して高くなっているのに対し、20歳代と30歳代では「婦人会」の割合がそれぞれ21.1%、38.6%と高くなっている。

地区別で見ると、南部での「自治会」の割合が67.3%と、他の地区と比較して高くなっている。

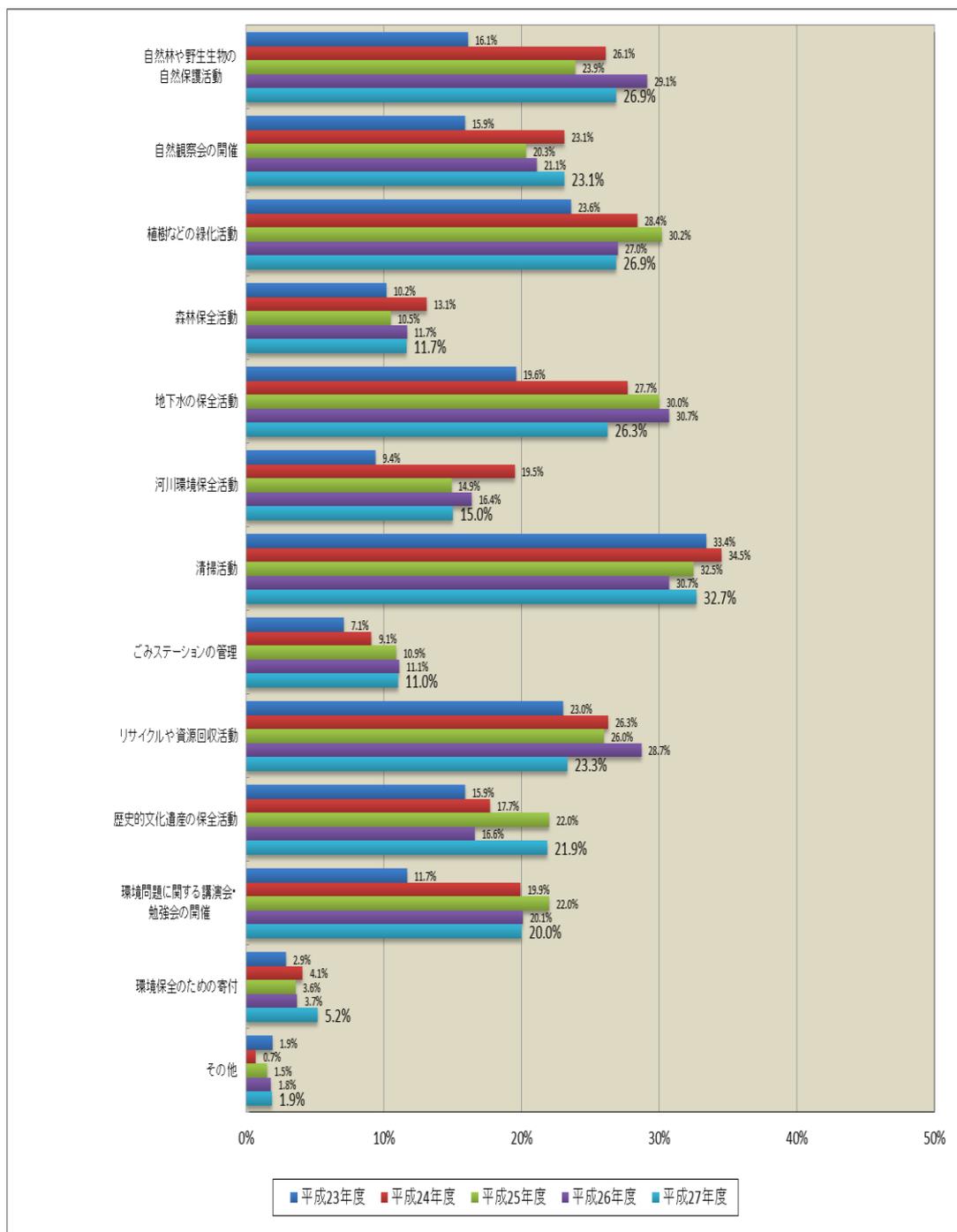
◆ 参考「その他」の内容 ◆

・熊本市(行政) ・企業(勤務先) ・個人 ・同世代の団体 ・しがらみのない団体 など

問7-4. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- ・「清掃活動」が 32.7%と最も高くなっており、次いで「自然林や野生生物の自然保護活動」・「植樹などの緑化活動」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「歴史的文化遺産の保全活動」の割合が 5.3 ポイント増加している。
- ・過去 5 年間ともに、問 7-2 で「参加している」と答えた方の 2%程度しか参加のない「自然保護活動」や「自然観察会」などのほとんどの活動に関心があるとうかがえる。



■属性別回答

	合計	の自然林や野生動物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーション	回収サイクルや資源	歴史的活動文化遺産の	環境問題・勉強会に関する	環境保全のための	その他
全体	480	26.9%	23.1%	26.9%	11.7%	26.3%	15.0%	32.7%	11.0%	23.3%	21.9%	20.0%	5.2%	1.9%
性別														
男性	224	27.2%	24.6%	20.5%	16.5%	29.5%	18.8%	33.5%	11.6%	18.3%	28.1%	19.2%	4.9%	3.1%
女性	255	26.7%	22.0%	32.5%	7.5%	23.5%	11.8%	32.2%	10.6%	27.8%	16.5%	20.8%	5.5%	0.8%
年代別														
20歳代	57	45.6%	22.8%	40.4%	8.8%	29.8%	12.3%	40.4%	10.5%	28.1%	15.8%	10.5%	5.3%	1.8%
30歳代	83	31.3%	22.9%	32.5%	13.3%	22.9%	12.0%	36.1%	10.8%	25.3%	21.7%	19.3%	9.6%	1.2%
40歳代	73	24.7%	26.0%	30.1%	9.6%	31.5%	13.7%	31.5%	8.2%	21.9%	19.2%	19.2%	8.2%	2.7%
50歳代	99	21.2%	22.2%	25.3%	15.2%	28.3%	22.2%	38.4%	14.1%	26.3%	30.3%	19.2%	5.1%	2.0%
60歳代	88	20.5%	20.5%	13.6%	12.5%	27.3%	12.5%	35.2%	8.0%	25.0%	20.5%	23.9%	0.0%	3.4%
70歳代	62	25.8%	27.4%	19.4%	8.1%	17.7%	16.1%	14.5%	12.9%	9.7%	21.0%	22.6%	1.6%	0.0%
80歳代	17	23.5%	17.6%	47.1%	11.8%	17.6%	11.8%	17.6%	17.6%	29.4%	17.6%	35.3%	11.8%	0.0%
職業別														
会社員	174	27.0%	20.7%	29.3%	12.1%	28.7%	12.6%	41.4%	11.5%	24.1%	24.7%	16.1%	4.6%	2.9%
自営業	35	14.3%	31.4%	22.9%	8.6%	25.7%	22.9%	25.7%	17.1%	25.7%	37.1%	25.7%	11.4%	2.9%
農林漁業	7	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
公務員	28	14.3%	25.0%	25.0%	10.7%	21.4%	10.7%	39.3%	10.7%	17.9%	14.3%	14.3%	3.6%	3.6%
学生	14	57.1%	42.9%	21.4%	14.3%	50.0%	14.3%	14.3%	7.1%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
無職	141	31.2%	23.4%	27.7%	12.8%	21.3%	19.1%	26.2%	8.5%	16.3%	19.1%	24.8%	4.3%	1.4%
その他	80	23.8%	22.5%	22.5%	10.0%	27.5%	10.0%	30.0%	13.8%	35.0%	16.3%	20.0%	5.0%	0.0%
地区別														
東部	142	25.4%	19.0%	23.9%	10.6%	28.2%	16.9%	38.7%	12.7%	22.5%	18.3%	20.4%	3.5%	2.1%
西部	57	29.8%	28.1%	33.3%	19.3%	21.1%	14.0%	28.1%	5.3%	17.5%	29.8%	26.3%	5.3%	1.8%
中央	142	26.1%	26.1%	19.7%	10.6%	26.1%	14.1%	29.6%	12.0%	24.6%	26.8%	21.1%	5.6%	2.8%
南部	52	26.9%	19.2%	32.7%	9.6%	25.0%	19.2%	34.6%	9.6%	21.2%	23.1%	21.2%	9.6%	1.9%
北部	81	29.6%	25.9%	34.6%	11.1%	28.4%	12.3%	29.6%	12.3%	28.4%	12.3%	13.6%	2.5%	0.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「歴史的文化遺産の保全活動」の割合が、女性を11.6ポイント上回っている。一方で「植樹などの緑化活動」の割合は、女性が男性を12ポイント上回っている。

年代別で見ると、20歳代では「自然林や野生生物の自然保護活動」(45.6%)、「清掃活動」(40.4%)の割合が他の年代と比較して高くなっており、40歳代では「地下水の保全活動」(31.5%)、50歳代では、「歴史的文化遺産の保全活動」(30.3%)、「河川環境保全活動」(22.2%)、「森林保全活動」(15.2%)の割合が他の年代と比較して高くなっている。

また、70歳代では、「自然観察会の開催」(27.4%)の割合が、80歳代では、「植林などの緑化活動」(47.1%)、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」(35.3%)、「リサイクルや資源回収活動」(29.4%)などの割合が他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると、東部では「清掃活動」(38.7%)の割合が、西部では「自然林や野生生物の自然保護活動」(29.8%)の割合が、南部では「河川環境保全活動」(19.2%)及び「環境保全のための寄付」(9.6%)の割合が、北部では「植樹などの緑化活動」(34.6%)、「地下水の保全活動」(28.4%)、「リサイクルや資源回収活動」(28.4%)の割合が他の地区と比較して高くなっている。

さらに、職業別では、農林漁業で「植樹などの緑化活動」や「河川環境保全活動」に対する関心が高く、学生では「自然林や野生生物の自然保護活動」や「地下水の保全活動」に対する関心が非常に高い。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・CO2削減活動、環境保全活動+ライブ、カフェ、音楽創作 というものと組み合わせられたイベント
- ・義務的ではなく楽しめるイベント
- ・車のない社会活動
- ・無駄な消費を無くす活動
- ・親子で楽しめる活動
- ・ビニール袋を使わない運動 など



江津湖
(熊本市東区)

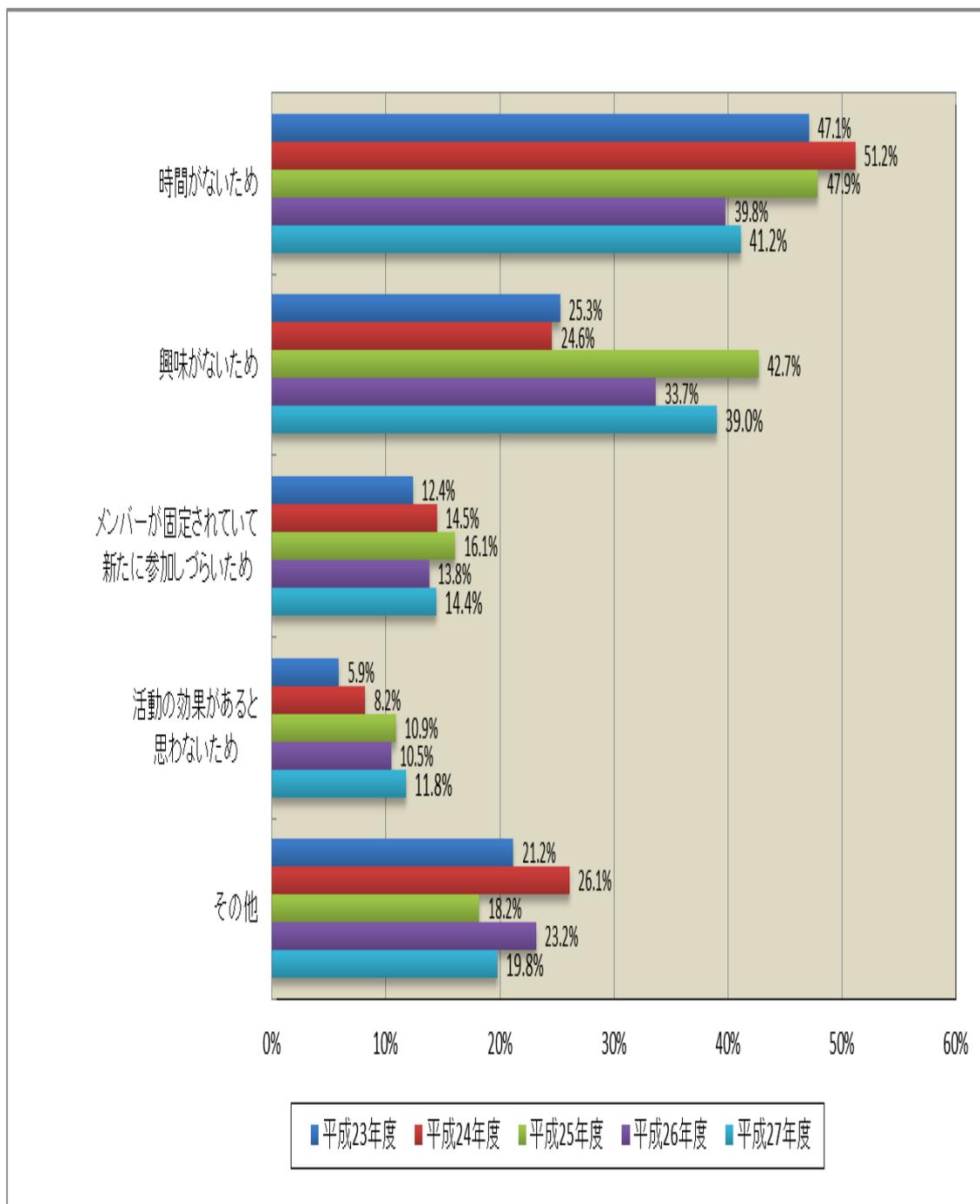


八景水谷公園
(熊本市北区)

問7-5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- ・「時間がないため」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「興味がないため」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「時間がないため」が 1.4 ポイント、「興味がないため」が 5.3 ポイント増加している。
- ・過去 5 年間の推移をみると、「時間がないため」が少しずつ減少しているのに対し、「興味がないため」が増加傾向にある。



■ 属性別回答

	合計	時間が ないため	興味が ないため	加れメン してバ らいて い新が たた固 め定 に参さ	と活 思動 わの ない 効果 がある	その他
全体	187	41.2%	39.0%	14.4%	11.8%	19.8%
性別						
男性	84	38.1%	42.9%	15.5%	15.5%	19.0%
女性	100	45.0%	36.0%	14.0%	9.0%	18.0%
年代別						
20歳代	29	48.3%	65.5%	6.9%	10.3%	6.9%
30歳代	25	64.0%	28.0%	20.0%	8.0%	4.0%
40歳代	32	56.3%	34.4%	15.6%	12.5%	9.4%
50歳代	33	48.5%	48.5%	21.2%	18.2%	18.2%
60歳代	28	39.3%	25.0%	21.4%	3.6%	32.1%
70歳代	21	9.5%	28.6%	9.5%	14.3%	38.1%
80歳代	17	0.0%	35.3%	0.0%	17.6%	35.3%
職業別						
会社員	67	67.2%	35.8%	20.9%	11.9%	7.5%
自営業	10	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%
農林漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	7	28.6%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%
学生	11	54.5%	63.6%	9.1%	9.1%	9.1%
無職	68	17.6%	39.7%	13.2%	14.7%	30.9%
その他	18	27.8%	38.9%	16.7%	5.6%	27.8%
地区別						
東部	54	46.3%	51.9%	14.8%	5.6%	14.8%
西部	25	40.0%	40.0%	16.0%	20.0%	24.0%
中央	48	31.3%	35.4%	10.4%	10.4%	27.1%
南部	30	50.0%	23.3%	20.0%	16.7%	6.7%
北部	25	44.0%	40.0%	8.0%	16.0%	20.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、「時間がいないため」の割合において、女性が男性を 6.9 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～50 歳代では「時間がいないため」の割合が高くなっており、特に 30 歳代で 64.0%と、他の年代と比較して最も高くなっている。

20 歳代、70 歳代及び 80 歳代では「興味がいないため」の割合が他の年代と比較して高くなっている。

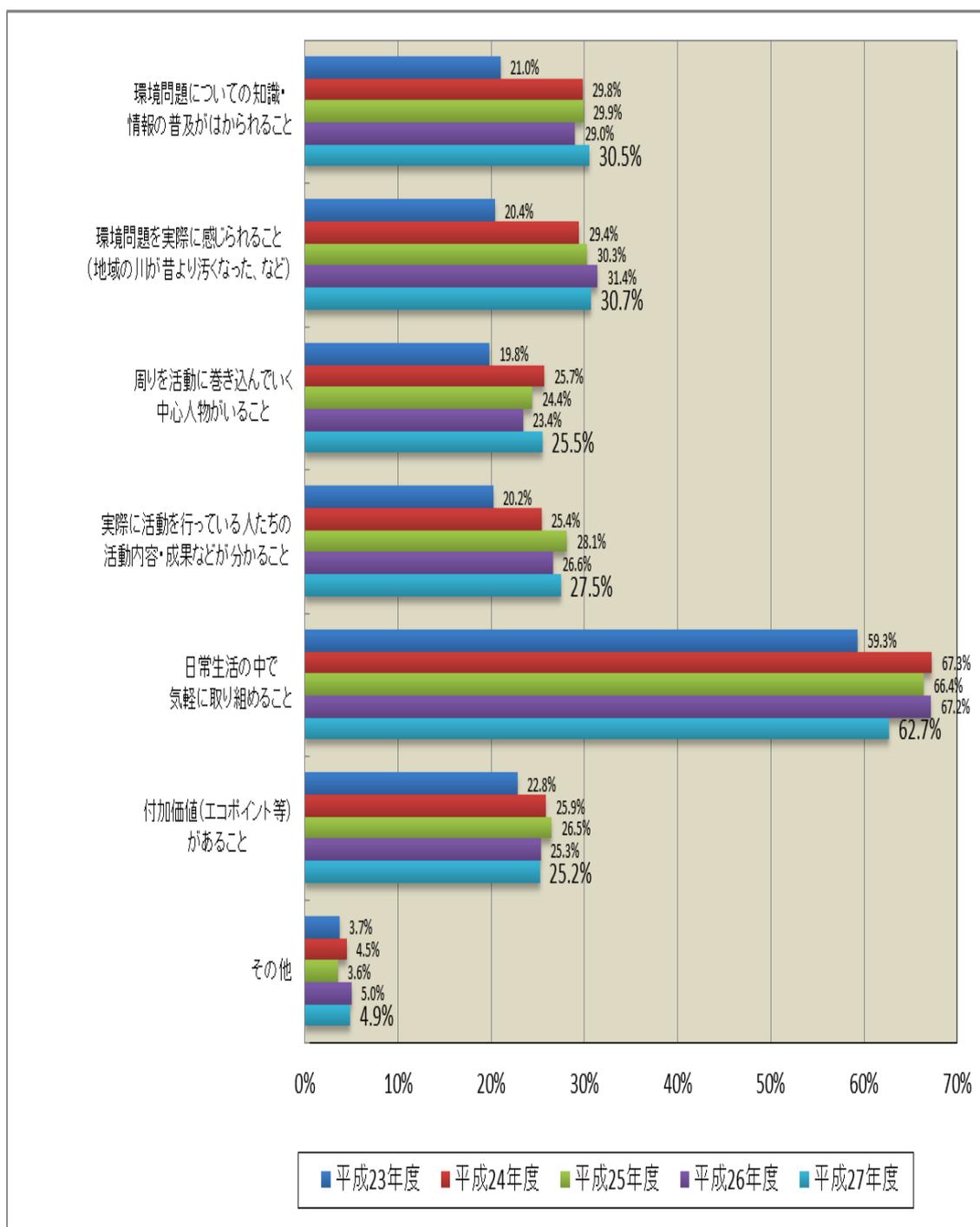
職業別では、学生の半数以上が「時間がいないため」及び「興味がいないため」と回答している。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

・情報がいないため ・新たな負担を強いられることがあるため など

問8. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- ・「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)」、「環境問題についての知識・情報の普及がはかられること」となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位・割合ともに大きな変化は見られない。
- ・過去 5 年とも「日常生活の中で気軽に取り組めること」が上位を占めており、日々のライフスタイルの一環とした活動を望む傾向にある。



■ 属性別回答

	合計	と及の環 が知境 は識問 か・題 ら情に れ報つ るのい こ普て	どりへ感環 汚地じ境 く域ら問 なのれ題 つ川るを たがこ実 、昔と際 なよに	物込周 がんだり いでを るい活 こく動 と中 心巻 人き	が動て実 分内い際 か容るに る・人活 こ成た動 と果ちを なの行 ど活つ	と軽日 に常 取生 り活 組の め中 で こ気	こイ付 とン加 ト価 等値 〜(エ がア あコ るポ	その他
全体	1,051	30.5%	30.7%	25.5%	27.5%	62.7%	25.2%	4.9%
性別								
男性	445	32.6%	31.7%	23.8%	28.5%	55.1%	21.6%	6.3%
女性	599	29.2%	30.4%	27.0%	26.9%	68.6%	28.2%	3.8%
年代別								
20歳代	94	26.6%	50.0%	28.7%	34.0%	60.6%	39.4%	5.3%
30歳代	131	26.0%	36.6%	29.0%	32.8%	68.7%	45.8%	3.1%
40歳代	169	21.3%	26.6%	23.1%	28.4%	61.5%	35.5%	6.5%
50歳代	193	37.3%	33.2%	21.8%	31.6%	62.2%	29.5%	4.7%
60歳代	223	36.3%	26.5%	27.8%	26.9%	65.9%	13.5%	4.9%
70歳代	165	26.7%	24.2%	23.6%	19.4%	60.6%	8.5%	5.5%
80歳代	71	40.8%	28.2%	29.6%	16.9%	54.9%	9.9%	2.8%
職業別								
会社員	327	29.1%	34.6%	22.9%	31.2%	63.6%	36.1%	6.4%
自営業	69	29.0%	31.9%	29.0%	24.6%	52.2%	13.0%	8.7%
農林漁業	17	23.5%	23.5%	11.8%	5.9%	70.6%	23.5%	0.0%
公務員	53	26.4%	47.2%	26.4%	24.5%	62.3%	34.0%	1.9%
学生	27	22.2%	44.4%	25.9%	25.9%	51.9%	44.4%	3.7%
無職	389	36.2%	27.8%	26.2%	24.4%	62.2%	14.7%	3.9%
その他	159	25.2%	23.9%	29.6%	32.7%	68.6%	28.9%	4.4%
地域別								
東部	286	34.3%	31.5%	25.5%	28.0%	67.5%	24.1%	4.2%
西部	134	23.9%	27.6%	28.4%	23.1%	59.0%	29.9%	8.2%
中央	263	29.3%	31.9%	25.9%	28.9%	60.5%	25.9%	3.4%
南部	159	26.4%	34.6%	27.0%	27.7%	62.9%	23.9%	6.3%
北部	192	34.9%	27.1%	23.4%	29.2%	62.5%	24.5%	4.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、男性の「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」の割合が、女性を3.4ポイント上回っている一方で、「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合は、女性が13.5ポイント、「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、女性が6.6ポイント男性を上回っている。

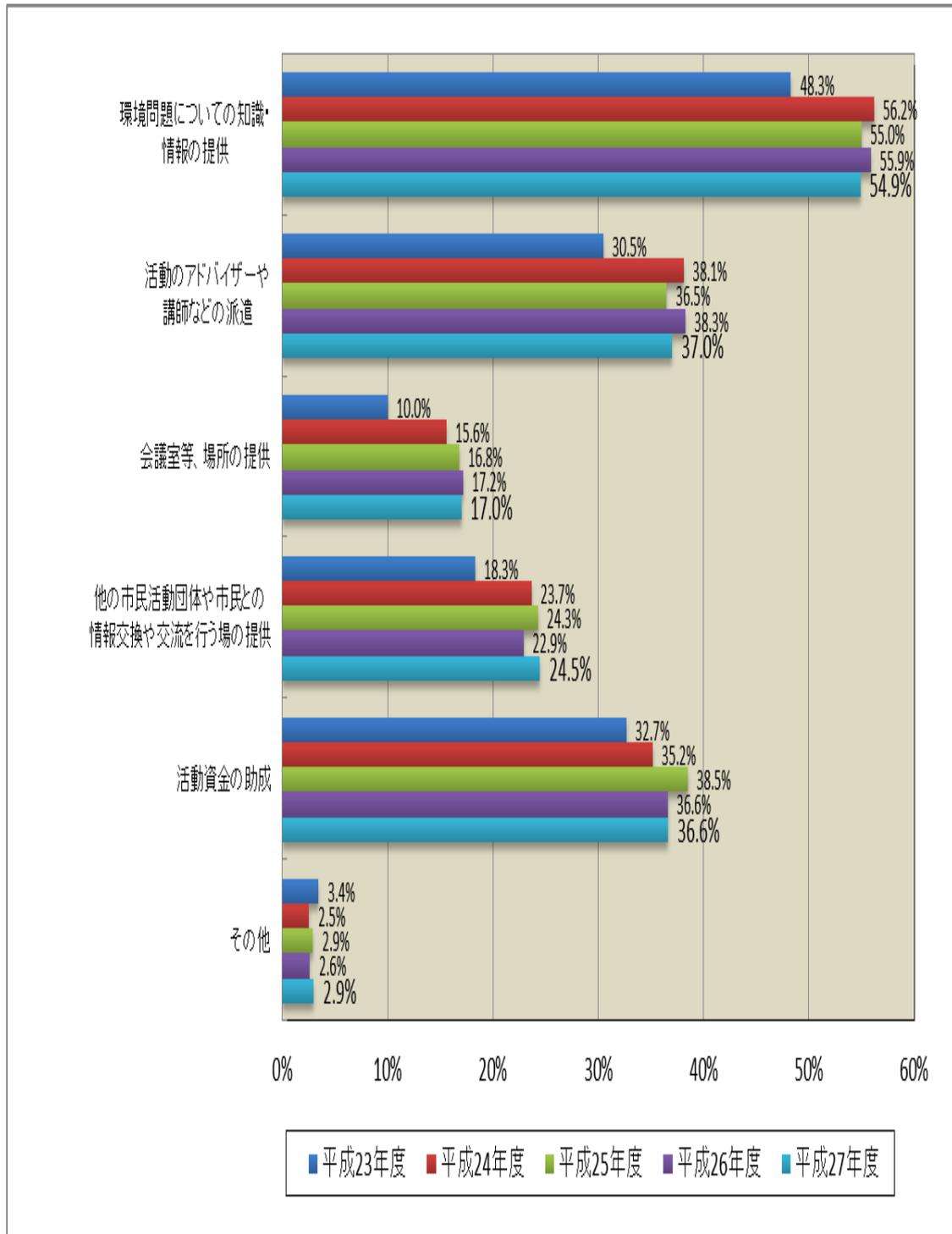
年代別にみると、20歳代では「環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)」の割合が50.0%と、他の年代と比較して高くなっている。また、「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、若年層が高い傾向にある。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

・行政が場づくりの支援をすること ・さかなくんなどの面白く解説してくれるセミナーなどが開催されること ・子どもが学校で学んできたことを家庭に伝える雰囲気ができること ・子どもたちが楽しく学べる、興味をもてる内容であること ・体験を重視した実践活動への金銭的補助 ・人的補助を行うこと など

問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- ・「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「活動資金の助成」となっている。
- ・前回調査及び過去 5 年間をみても、順位・割合ともに大きな変化は見られず、情報提供や講師等の派遣に続き、活動資金の助成の割合が高い。



■ 属性別回答

	合計	環境・知識・情報提供	派遣活動のアドバイザーなどの	会議室等、場所の提供	他の市民の活動の場としての交流を促す	活動資金の助成	その他
全体	1,051	54.9%	37.0%	17.0%	24.5%	36.6%	2.9%
性別							
男性	445	54.2%	37.8%	16.0%	27.0%	36.9%	3.4%
女性	599	55.8%	36.7%	18.0%	22.9%	36.9%	2.7%
年代別							
20歳代	94	51.1%	36.2%	23.4%	31.9%	38.3%	1.1%
30歳代	131	58.8%	37.4%	26.7%	30.5%	42.0%	1.5%
40歳代	169	53.3%	42.6%	19.5%	21.9%	39.6%	3.0%
50歳代	193	58.5%	43.0%	18.7%	27.5%	44.6%	3.1%
60歳代	223	53.8%	36.3%	14.8%	23.8%	35.0%	3.6%
70歳代	165	54.5%	30.9%	6.7%	18.2%	27.9%	3.0%
80歳代	71	53.5%	26.8%	11.3%	19.7%	22.5%	5.6%
職業別							
会社員	327	56.6%	41.0%	18.7%	26.6%	41.6%	3.1%
自営業	69	53.6%	40.6%	14.5%	20.3%	39.1%	7.2%
農林漁業	17	47.1%	29.4%	17.6%	5.9%	41.2%	0.0%
公務員	53	43.4%	39.6%	18.9%	35.8%	41.5%	1.9%
学生	27	37.0%	48.1%	29.6%	29.6%	33.3%	0.0%
無職	389	56.3%	30.8%	13.1%	21.6%	33.4%	2.3%
その他	159	57.9%	42.1%	22.6%	27.7%	33.3%	3.8%
地区別							
東部	286	53.1%	42.7%	15.4%	24.5%	35.3%	3.5%
西部	134	53.7%	35.1%	19.4%	23.1%	37.3%	2.2%
中央	263	52.9%	36.5%	19.4%	27.8%	38.8%	1.5%
南部	159	61.6%	29.6%	18.2%	20.8%	40.3%	3.8%
北部	192	57.3%	37.5%	14.6%	24.0%	33.3%	4.2%

【回答者の属性別にみた結果】

年代別で見ると、30歳代では「会議室等、場所の提供」の割合が26.7%と、他の年代と比較して高いのに対し、50歳代では「活動のアドバイザーや講師などの派遣」の割合が43.0%と高くなっている。

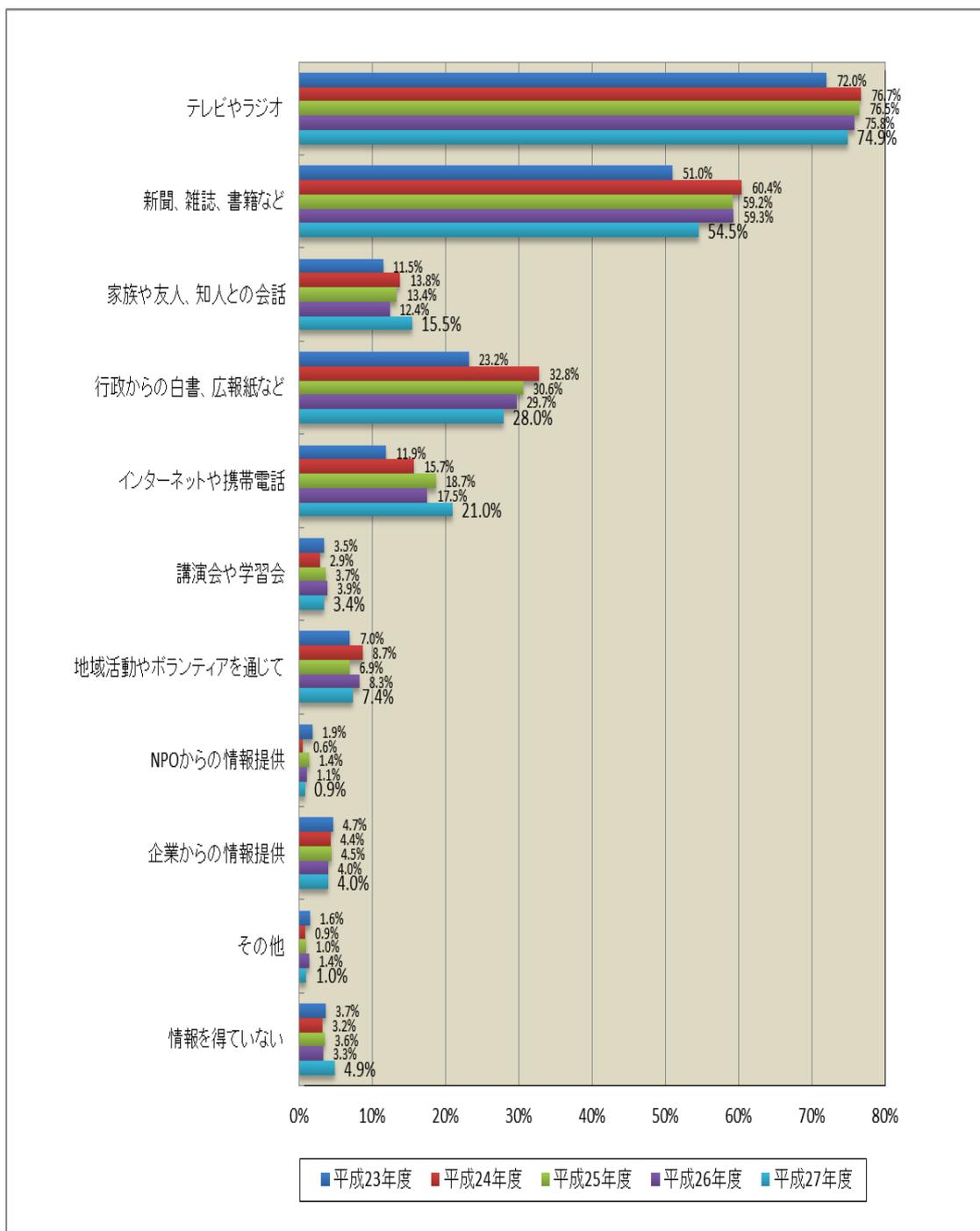
地区別で見ると、南部では「環境問題についての知識・情報の提供」(61.6%)、「活動資金の助成」(40.3%)が他の地区と比較して高くなっている。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・活動拠点の設置 ・公園内建物等の活用 ・活動実績の共有支援、広報 ・設営等のアドバイス
- ・幼少期から興味をもつような人材育成支援 など

問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- ・「テレビやラジオ」の割合が 74.9%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」、「行政からの白書、広報紙など」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「新聞、雑誌、書籍など」の割合が減少したことに対し、「インターネットや携帯電話」の割合が増加傾向にある。
- ・過去 5 年間の推移としては、「テレビやラジオ」・「新聞、雑誌、書籍など」が上位を占めるものの緩やかに減少しており、反対に「インターネットや携帯電話」との回答が年々増加傾向にある。



■属性別回答

	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	家族や友人、知人との	紙などからの白書、広報	インターネットや携帯	講演会や学習会	地域活動やボランティア	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,051	74.9%	54.5%	15.5%	28.0%	21.0%	3.4%	7.4%	0.9%	4.0%	1.0%	4.9%
性別												
男性	445	70.3%	52.8%	10.1%	22.5%	22.7%	2.9%	6.3%	1.3%	5.6%	0.7%	5.6%
女性	599	78.3%	56.1%	19.5%	32.1%	20.0%	3.8%	8.3%	0.5%	2.8%	1.3%	4.5%
年代別												
20歳代	94	74.5%	34.0%	12.8%	12.8%	53.2%	1.1%	3.2%	2.1%	2.1%	1.1%	6.4%
30歳代	131	74.0%	42.0%	15.3%	27.5%	46.6%	2.3%	3.1%	0.8%	6.9%	3.1%	6.9%
40歳代	169	79.3%	54.4%	10.7%	29.0%	23.7%	4.1%	8.9%	0.0%	6.5%	1.2%	4.1%
50歳代	193	81.3%	61.7%	14.0%	29.0%	24.4%	2.6%	5.7%	0.5%	4.7%	0.0%	3.1%
60歳代	223	70.9%	61.9%	15.2%	33.2%	9.0%	4.0%	9.4%	1.8%	3.6%	1.3%	7.2%
70歳代	165	71.5%	59.4%	23.0%	29.7%	1.2%	4.8%	12.1%	0.6%	1.2%	0.6%	2.4%
80歳代	71	70.4%	52.1%	18.3%	23.9%	1.4%	4.2%	5.6%	0.0%	1.4%	0.0%	5.6%
職業別												
会社員	327	78.6%	53.5%	11.9%	25.4%	33.6%	2.4%	6.1%	0.9%	8.0%	0.3%	3.7%
自営業	69	63.8%	52.2%	13.0%	18.8%	17.4%	8.7%	10.1%	0.0%	1.4%	2.9%	15.9%
農林漁業	17	58.8%	41.2%	23.5%	29.4%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%
公務員	53	69.8%	43.4%	11.3%	32.1%	35.8%	7.5%	3.8%	0.0%	3.8%	1.9%	3.8%
学生	27	66.7%	44.4%	11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	3.7%	3.7%	7.4%	3.7%	7.4%
無職	389	75.3%	57.8%	19.5%	31.6%	8.2%	2.8%	9.3%	0.8%	1.0%	0.8%	5.7%
その他	159	77.4%	58.5%	15.7%	30.8%	18.9%	3.8%	6.3%	0.6%	4.4%	1.3%	1.3%
地区別												
東部	286	75.9%	54.2%	12.9%	29.4%	22.4%	3.1%	5.9%	0.3%	3.8%	1.0%	5.6%
西部	134	73.1%	57.5%	14.9%	26.9%	19.4%	2.2%	7.5%	1.5%	1.5%	3.0%	9.0%
中央	263	78.7%	58.6%	15.2%	25.5%	20.9%	2.3%	6.5%	1.1%	7.2%	0.8%	3.0%
南部	159	69.2%	48.4%	18.2%	29.6%	18.9%	4.4%	6.9%	0.6%	4.4%	0.0%	7.5%
北部	192	75.0%	54.2%	17.7%	29.2%	22.4%	5.7%	11.5%	1.0%	1.6%	1.0%	1.6%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、女性の「行政からの白書・広報紙など」の割合が男性を 9.6 ポイント上回っている。

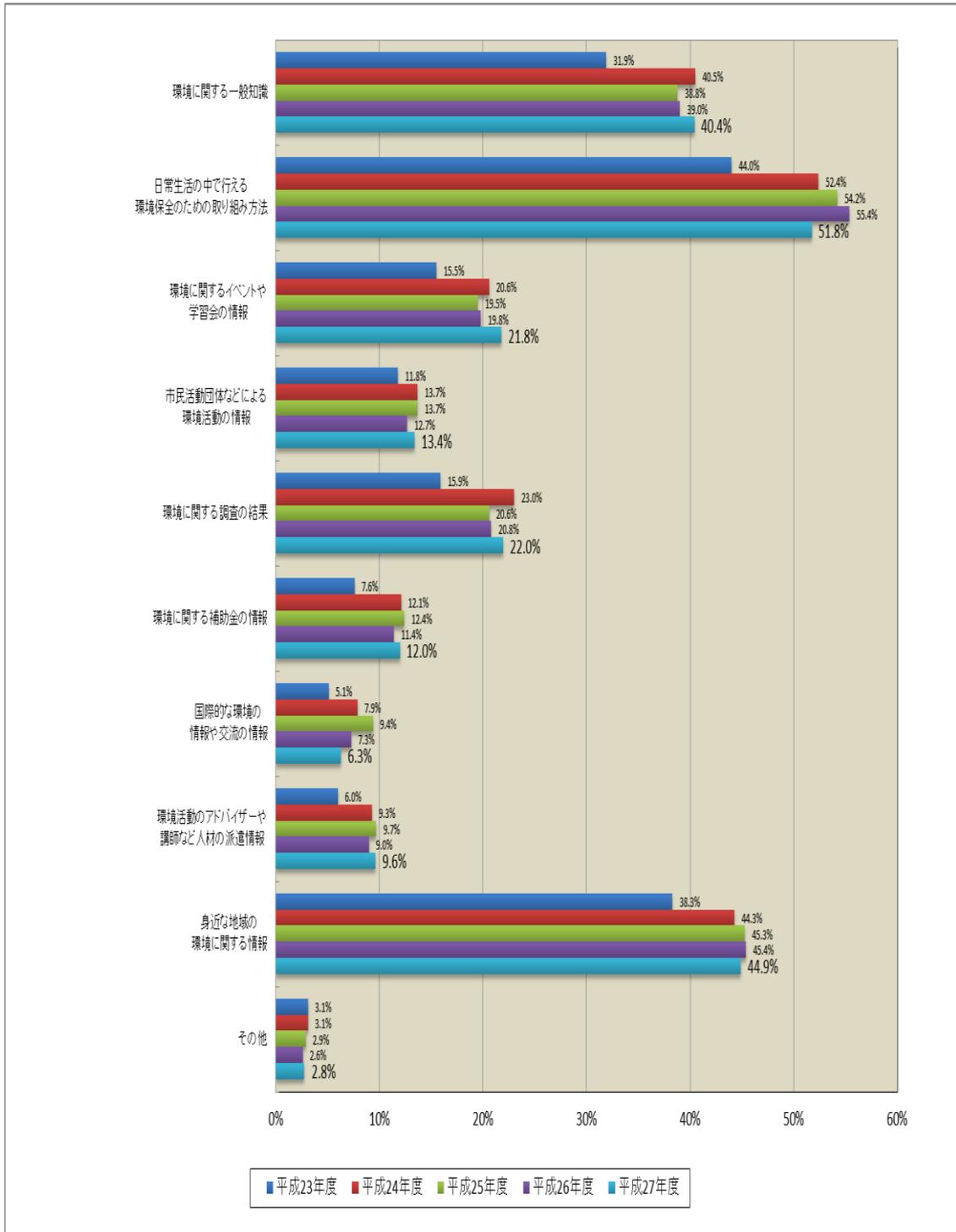
年代別でみると、40～80 歳代の 5 割以上が「新聞、雑誌、書籍など」と回答しているが、20 歳代・30 歳代では「インターネットや携帯電話」の割合の方が高い。また、「行政からの白書、広報紙など」の割合は、20 歳代が他の世代と比べて著しく低くなっている

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・SNS(ソーシャルネットワークサービス) ・学校、PTAからの広報物 ・公民館設置の広報物
- ・回覧板 ・電車、バスなどの交通機関設置の広報物 など

問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

- ・「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合が51.8%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」、「環境に関する一般知識」となっている。
- ・前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。
- ・過去5年間をみても、上位は変わらないが、イベントや調査・補助金などの情報も少しずつ増えている。



■属性別回答

	合計	環境に関する一般知識	日常生活の中での取り組める環境保全の方法	環境に関するイベントや学習会	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する調査の結果	環境に関する補助金の情報	国際的な環境の情報や交流	派遣や講師など人材の環境活動の情報	身近な地域の環境に関する情報	その他
全体	1,051	40.4%	51.8%	21.8%	13.4%	22.0%	12.0%	6.3%	9.6%	44.9%	2.8%
性別											
男性	445	37.3%	45.2%	24.9%	16.6%	21.6%	15.3%	5.8%	9.9%	43.1%	3.1%
女性	599	42.9%	57.3%	19.7%	11.0%	22.2%	9.7%	6.7%	9.5%	46.6%	2.5%
年代別											
20歳代	94	37.2%	54.3%	22.3%	18.1%	19.1%	12.8%	9.6%	7.4%	39.4%	4.3%
30歳代	131	40.5%	57.3%	32.1%	10.7%	29.8%	15.3%	7.6%	11.5%	41.2%	3.1%
40歳代	169	39.6%	55.6%	20.7%	11.8%	22.5%	14.8%	3.6%	9.5%	42.0%	3.6%
50歳代	193	43.0%	52.8%	26.4%	14.0%	22.8%	15.0%	9.8%	11.9%	42.5%	2.6%
60歳代	223	37.7%	53.8%	20.2%	13.5%	22.0%	9.4%	5.8%	8.5%	50.7%	3.1%
70歳代	165	41.8%	49.1%	16.4%	12.7%	18.2%	7.3%	4.2%	6.7%	47.9%	0.6%
80歳代	71	46.5%	29.6%	11.3%	16.9%	16.9%	9.9%	2.8%	14.1%	50.7%	2.8%
職業別											
会社員	327	39.8%	52.3%	25.7%	12.2%	23.5%	15.9%	5.5%	9.2%	44.6%	3.1%
自営業	69	37.7%	49.3%	24.6%	18.8%	26.1%	11.6%	13.0%	10.1%	39.1%	2.9%
農林漁業	17	58.8%	47.1%	17.6%	5.9%	17.6%	11.8%	5.9%	11.8%	52.9%	0.0%
公務員	53	28.3%	54.7%	28.3%	11.3%	26.4%	11.3%	1.9%	9.4%	47.2%	0.0%
学生	27	37.0%	51.9%	18.5%	18.5%	29.6%	22.2%	11.1%	11.1%	29.6%	7.4%
無職	389	42.4%	48.3%	17.2%	13.6%	20.1%	8.0%	4.9%	8.0%	49.1%	2.6%
その他	159	42.1%	61.0%	22.6%	12.6%	20.1%	12.6%	9.4%	14.5%	41.5%	3.1%
地区別											
東部	286	41.3%	54.5%	18.9%	18.9%	22.0%	10.8%	7.7%	8.7%	43.0%	3.5%
西部	134	44.0%	43.3%	18.7%	8.2%	17.2%	11.2%	3.7%	10.4%	42.5%	3.7%
中央	263	37.3%	50.6%	27.4%	14.8%	22.4%	14.1%	8.4%	10.6%	45.2%	1.1%
南部	159	44.0%	53.5%	22.0%	12.6%	19.5%	13.2%	5.0%	10.1%	49.1%	3.1%
北部	192	37.5%	53.6%	21.4%	8.9%	27.6%	10.9%	4.7%	9.4%	46.4%	2.6%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「市民活動団体などによる環境活動の情報」や「環境に関する補助金の情報」の割合が、女性を 5.6 ポイント上回っている。一方で、「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合は、女性が男性を 12.1 ポイント上回っている。

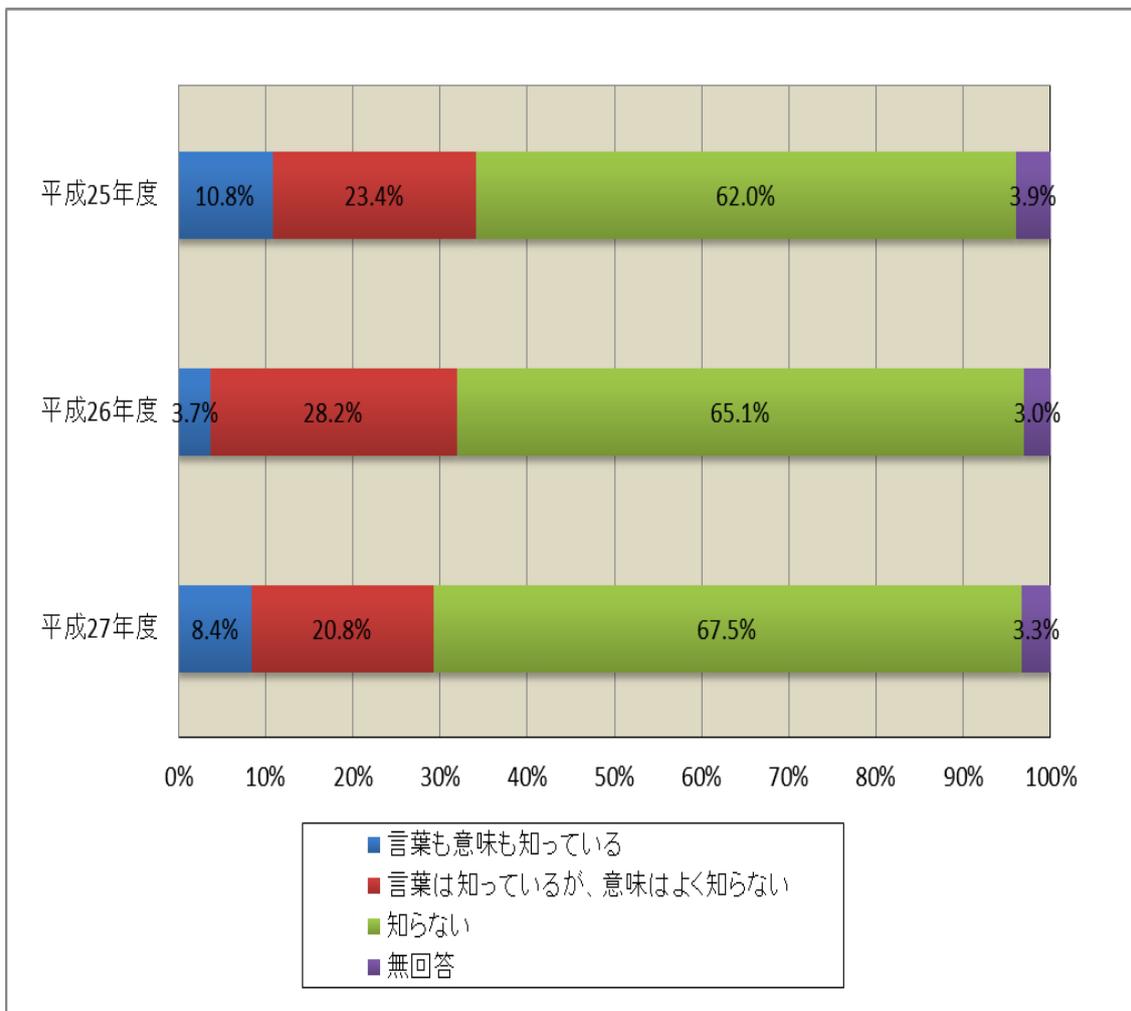
年代別で見ると、「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合は 20～70 歳代で高くなっており、「身近な地域の環境に関する情報」の割合は 60～80 歳代で高くなっている。

◆ 参考「その他」の内容 ◆

- ・環境が悪くなっている情報だけでなく、環境保全活動により改善効果が見られた情報
- ・環境汚染による健康被害の状況 ・わかりやすい環境問題の解説情報 ・居住地付近の情報 など

問12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1つだけ)

- ・「知らない」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」、「言葉も意味も知っている」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知っている」の割合が 4.7 ポイント増加しているが、「知らない」の割合も 2.4 ポイント増加している。
- ・調査開始の 2 年前に比べ、「知らない」人の割合が増えている。



※カーボン・オフセットとは・・・市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせること。

※出典：平成 25 年度カーボン・オフセットレポート（平成 26 年 3 月環境省）

■属性別回答

	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,051	8.4%	20.8%	67.5%	3.3%
性別					
男性	445	12.6%	18.4%	65.2%	3.8%
女性	599	5.3%	22.9%	69.1%	2.7%
年代別					
20歳代	94	5.3%	7.4%	87.2%	0.0%
30歳代	131	9.2%	16.0%	74.0%	0.8%
40歳代	169	10.1%	16.6%	71.6%	1.8%
50歳代	193	8.3%	24.9%	65.3%	1.6%
60歳代	223	8.1%	22.4%	65.9%	3.6%
70歳代	165	9.1%	32.1%	52.1%	6.7%
80歳代	71	7.0%	16.9%	66.2%	9.9%
職業別					
会社員	327	10.7%	20.8%	67.0%	1.5%
自営業	69	14.5%	15.9%	66.7%	2.9%
農林漁業	17	5.9%	17.6%	70.6%	5.9%
公務員	53	9.4%	22.6%	66.0%	1.9%
学生	27	3.7%	7.4%	88.9%	0.0%
無職	389	6.9%	22.9%	64.8%	5.4%
その他	159	5.7%	20.8%	72.3%	1.3%
地区別					
東部	286	9.4%	16.8%	69.6%	4.2%
西部	134	6.0%	24.6%	65.7%	3.7%
中央	263	9.9%	22.1%	65.4%	2.7%
南部	159	8.2%	20.8%	68.6%	2.5%
北部	192	7.3%	23.4%	66.1%	3.1%

【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「言葉も意味も知っている」の割合が、女性を7.3ポイント上回っている。反対に「言葉は知っているが、意味はよく知らない」の割合は、女性が男性を4.5ポイント上回っている。

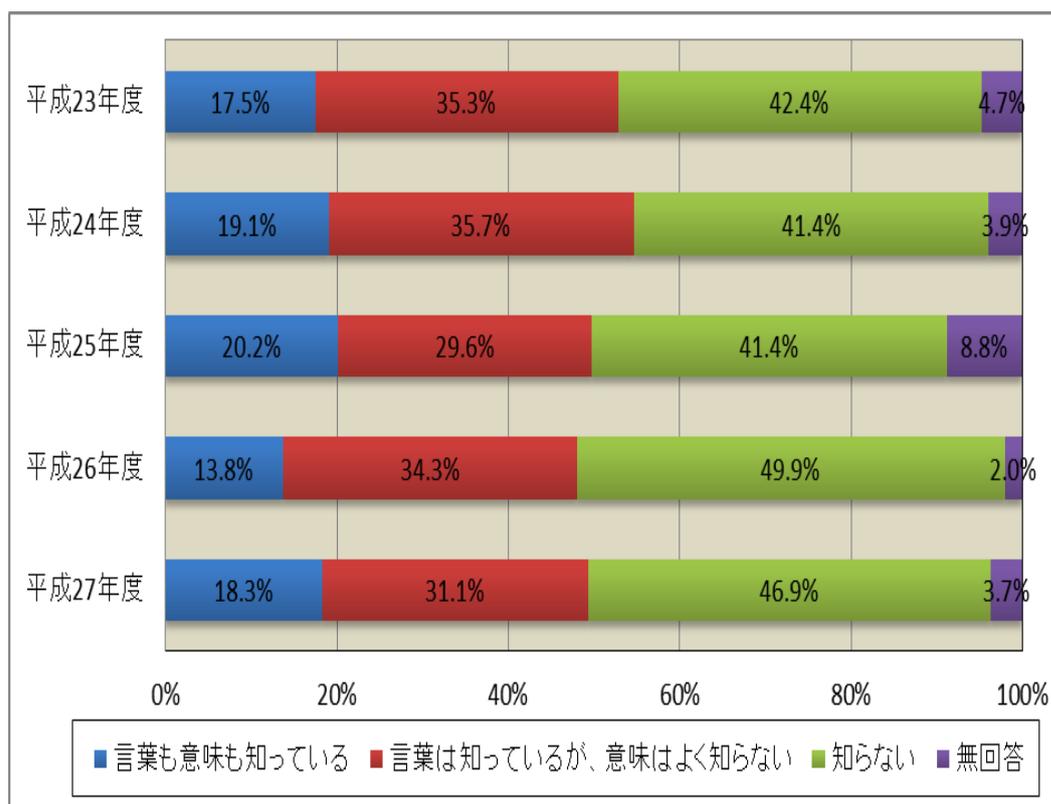
年代別にみると「言葉も意味も知っている」の割合で最も高いのは40歳代だが、全体結果と大差なく、10.1%にすぎない。

地区別にみると「言葉も意味も知っている」の割合で最も高いのは中央だが、こちらも全体結果と大差なく、9.9%にすぎない。

問13 「生物多様性」について

問13. 「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

- ・「知らない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」、「言葉も意味も知っている」となっている。
- ・前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」の割合は 4.5 ポイント増加している。
- ・平成 23 年度と比べると、「言葉も意味も知っている」方の割合は 0.8 ポイント増えたものの、「知らない」方の割合が 4.5 ポイント増えている。



※生物多様性とは・・・生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

■属性別回答

	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,051	18.3%	31.1%	46.9%	3.7%
性別					
男性	445	22.0%	27.9%	46.7%	3.4%
女性	599	15.7%	33.6%	47.1%	3.7%
年代別					
20歳代	94	23.4%	34.0%	42.6%	0.0%
30歳代	131	22.1%	28.2%	48.9%	0.8%
40歳代	169	16.6%	29.0%	52.7%	1.8%
50歳代	193	17.1%	31.1%	50.8%	1.0%
60歳代	223	19.7%	30.5%	42.6%	7.2%
70歳代	165	15.2%	35.2%	43.6%	6.1%
80歳代	71	15.5%	29.6%	47.9%	7.0%
職業別					
会社員	327	19.0%	30.0%	49.8%	1.2%
自営業	69	23.2%	23.2%	49.3%	4.3%
農林漁業	17	29.4%	17.6%	47.1%	5.9%
公務員	53	30.2%	35.8%	34.0%	0.0%
学生	27	25.9%	40.7%	33.3%	0.0%
無職	389	15.9%	32.9%	46.3%	4.9%
その他	159	13.8%	31.4%	49.1%	5.7%
地区別					
東部	286	18.9%	31.1%	46.2%	3.8%
西部	134	15.7%	34.3%	47.8%	2.2%
中央	263	22.4%	28.9%	45.2%	3.4%
南部	159	11.9%	32.7%	53.5%	1.9%
北部	192	18.2%	31.3%	44.8%	5.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、男性の「言葉も意味も知っている」の割合が、女性を6ポイント上回っている。

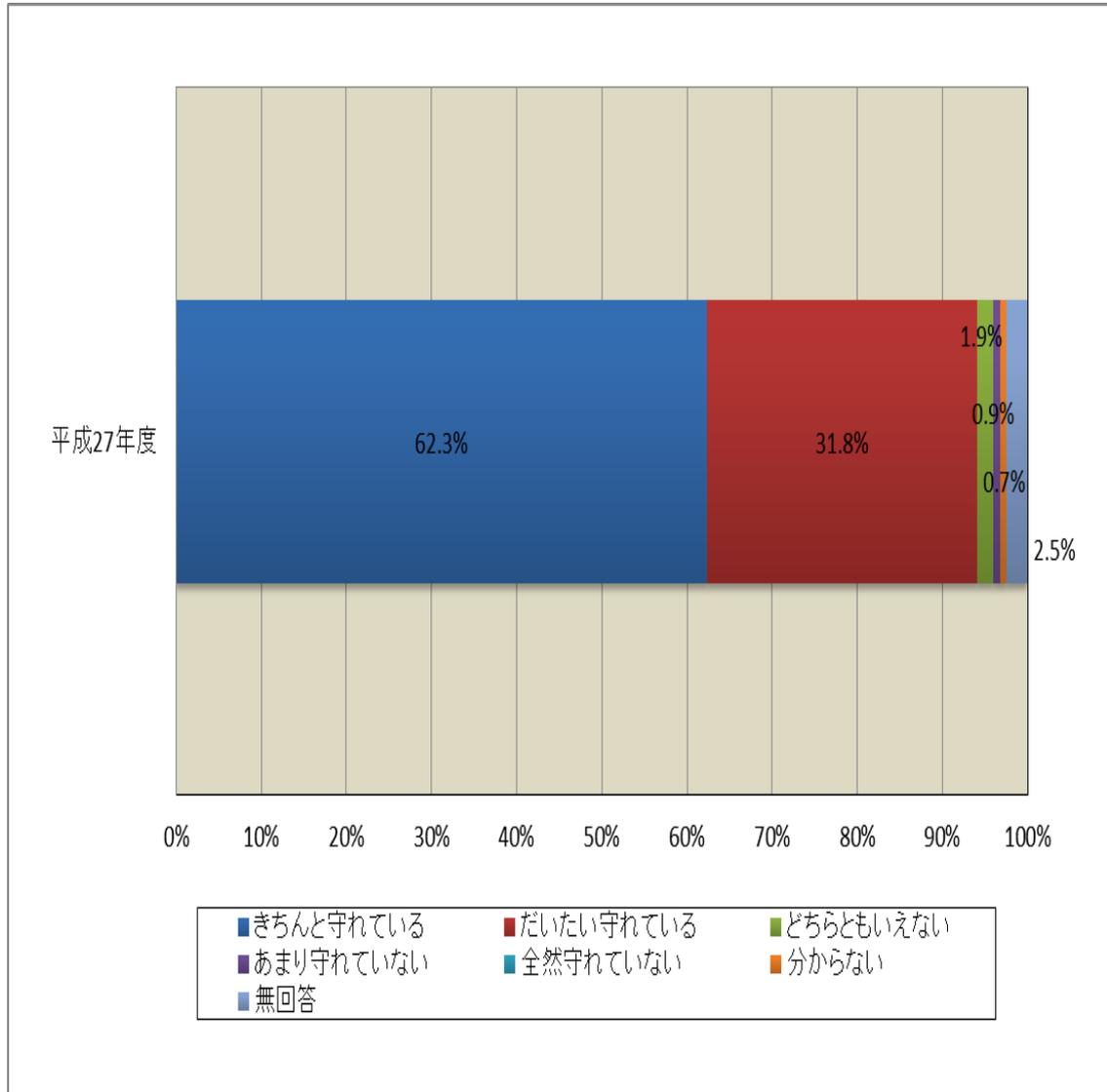
年代別でみると、20歳代では「言葉も意味も知っている」の割合が23.4%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると「言葉も意味も知っている」割合は、中央が22.4%と最も高く、次いで東部、北部となっている。

問14 「ごみ出しルール」について

問14. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

・「きちんと守れている」の割合が 62.3%と最も高く、「だいたい守れている」の割合と合わせると、9割以上の方がごみ出しルールをほぼ守れていると答えている。



■属性別回答

	合計	きちんと守れている	だいたい守れている	どちらともいえない	あまり守れていない	全然守れていない	分からない	無回答
全体	1,051	62.3%	31.8%	1.9%	0.9%	0.0%	0.7%	2.5%
性別								
男性	445	59.8%	33.0%	2.9%	1.1%	0.0%	0.9%	2.2%
女性	599	64.6%	31.1%	1.0%	0.8%	0.0%	0.3%	2.2%
年代別								
20歳代	94	40.4%	50.0%	3.2%	2.1%	0.0%	3.2%	1.1%
30歳代	131	52.7%	42.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
40歳代	169	66.9%	30.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
50歳代	193	68.4%	30.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%
60歳代	223	68.6%	24.2%	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%	5.8%
70歳代	165	64.8%	29.1%	3.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.6%
80歳代	71	59.2%	26.8%	2.8%	2.8%	0.0%	1.4%	7.0%
職業別								
会社員	327	61.8%	34.9%	1.2%	0.6%	0.0%	0.3%	1.2%
自営業	69	66.7%	27.5%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
農林漁業	17	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	53	56.6%	39.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	27	44.4%	37.0%	7.4%	3.7%	0.0%	7.4%	0.0%
無職	389	64.8%	28.3%	1.8%	1.8%	0.0%	0.8%	2.6%
その他	159	62.9%	32.1%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
地区別								
東部	286	63.6%	31.8%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	2.4%
西部	134	60.4%	35.1%	0.7%	0.7%	0.0%	0.7%	2.2%
中央	263	62.7%	31.2%	2.3%	0.8%	0.0%	0.4%	2.7%
南部	159	61.6%	32.1%	3.1%	1.3%	0.0%	1.3%	0.6%
北部	192	63.5%	29.2%	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%	2.6%

【回答者の属性別にみた結果】

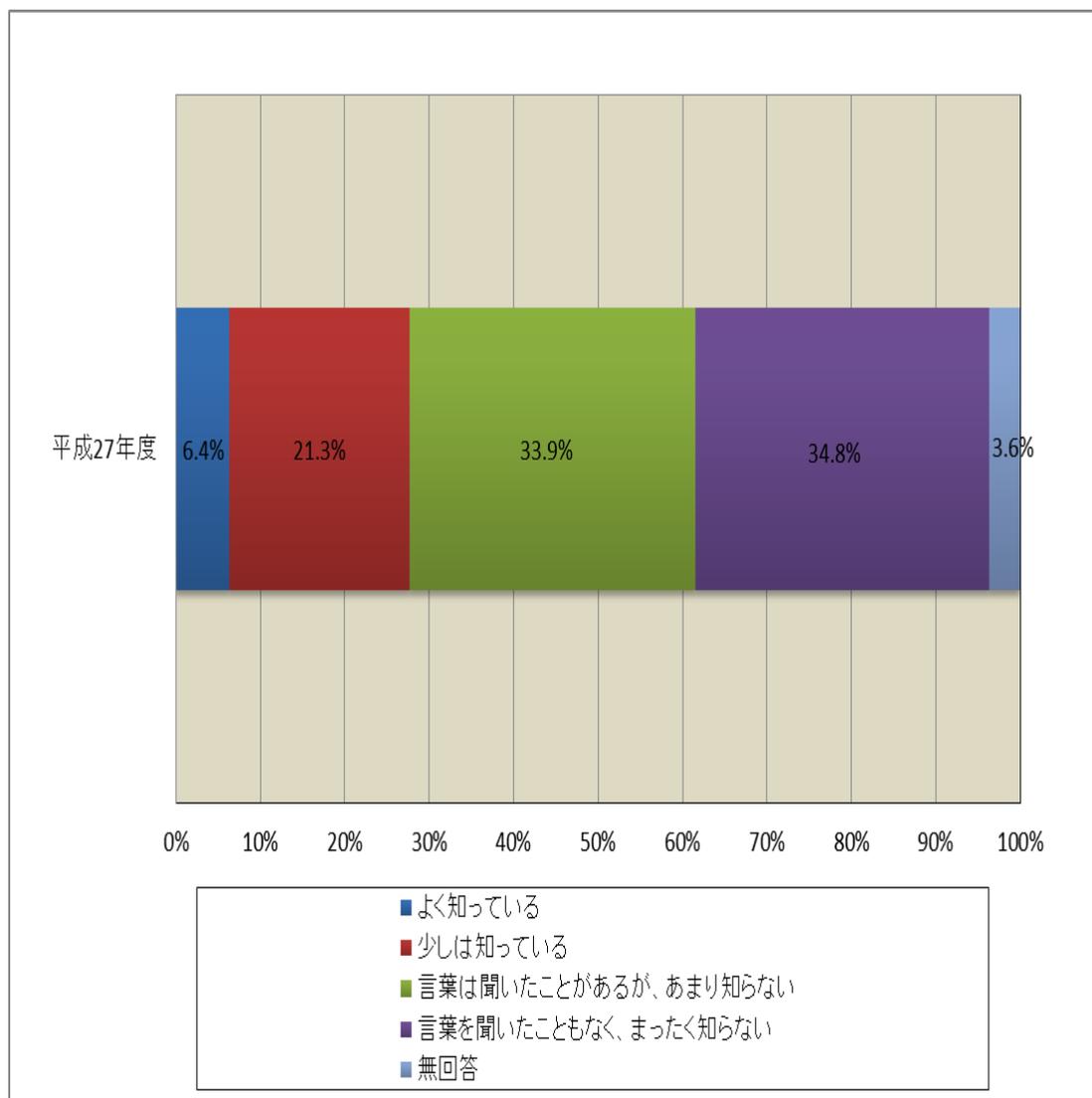
性別で見ると、女性の「きちんと守れている」の割合が、男性を4.8ポイント上回っている。

年代別で見ると、40～70歳代では「きちんと守れている」の割合が60%以上に対し、20歳代では40%程度となっており、若年層のごみ出しルール遵守割合が低いことがうかがえる。

問15、16 「スマートハウス」について

問15. 「スマートハウス」について知っていますか。(1つだけ)

・「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」(33.9%)、「少しは知っている」(21.3%)となっている。



■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	あるが、あまり知らがない	言葉は聞いたこともない	無回答
全体	1,051	6.4%	21.3%	33.9%	34.8%	3.6%
性別						
男性	445	8.8%	22.2%	33.0%	33.3%	2.7%
女性	599	4.7%	20.7%	34.6%	36.2%	3.8%
年代別						
20歳代	94	5.3%	20.2%	31.9%	41.5%	1.1%
30歳代	131	7.6%	17.6%	41.2%	33.6%	0.0%
40歳代	169	8.9%	22.5%	39.1%	27.8%	1.8%
50歳代	193	5.7%	22.8%	37.3%	33.2%	1.0%
60歳代	223	7.6%	22.4%	34.5%	30.0%	5.4%
70歳代	165	4.2%	23.0%	24.8%	41.8%	6.1%
80歳代	71	2.8%	15.5%	19.7%	50.7%	11.3%
職業別						
会社員	327	10.1%	21.1%	38.2%	29.7%	0.9%
自営業	69	10.1%	23.2%	30.4%	30.4%	5.8%
農林漁業	17	5.9%	17.6%	29.4%	47.1%	0.0%
公務員	53	5.7%	22.6%	41.5%	30.2%	0.0%
学生	27	3.7%	18.5%	25.9%	51.9%	0.0%
無職	389	4.6%	21.6%	28.8%	39.8%	5.1%
その他	159	2.5%	20.8%	37.7%	34.0%	5.0%
地区別						
東部	286	7.0%	18.5%	33.2%	37.8%	3.5%
西部	134	9.7%	20.1%	32.8%	35.1%	2.2%
中央	263	5.3%	22.4%	35.4%	32.7%	4.2%
南部	159	5.7%	24.5%	31.4%	35.2%	3.1%
北部	192	5.2%	21.4%	35.9%	34.4%	3.1%

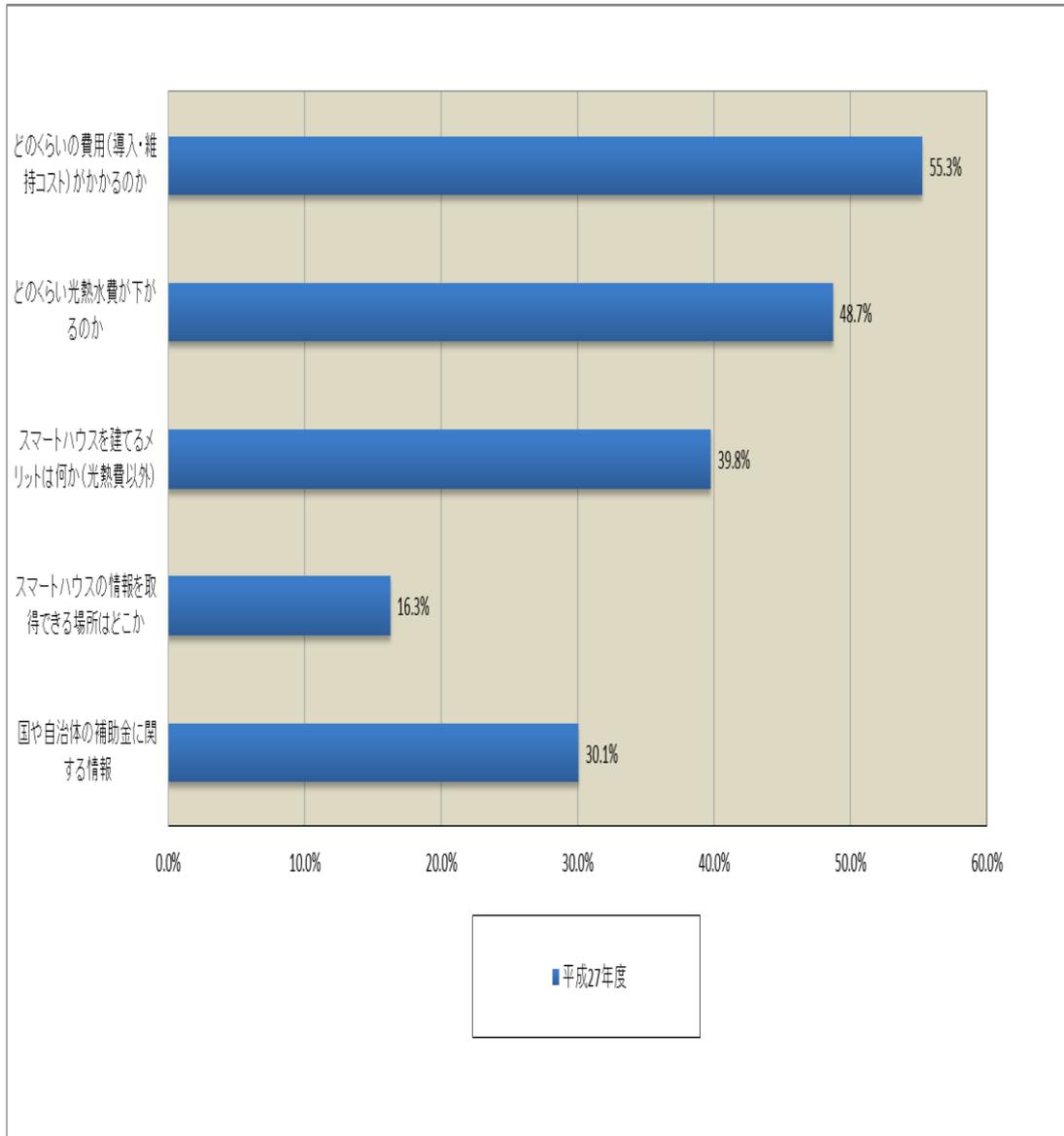
【回答者の属性別にみた結果】

性別で見ると、男性の「よく知っている」及び「少しは知っている」の割合が、女性を5.6ポイント上回っている。

年代別で見ると、40歳代では「よく知っている」及び「少しは知っている」の割合が31.4%と他の年代と比べ最も高くなっている。

問16. 「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(複数回答可)

・「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「どのくらい光熱水費が下がるのか」(48.7%)、「スマートハウスを建てるメリットは何か(光熱費以外)」(39.8%)となっている。



■属性別回答

	合計	ト（どの 導の か入く か・ら か維い る持の のコ費 かス用	がど 下 がく るら のい か光 熱 水 費	（てス 光マ 熱メ 費リ 以ツ 外ト ）ハ はス 何を か建	は報ス どをマ こ取ー か得ト でハ きるウ 場所ス の情	国 や 自 治 体 の 補 助 金 に 関 する 情 報
全体	1,051	55.3%	48.7%	39.8%	16.3%	30.1%
性別						
男性	445	55.1%	42.5%	36.9%	14.8%	29.4%
女性	599	55.9%	53.9%	42.4%	17.5%	30.6%
年代別						
20歳代	94	72.3%	60.6%	56.4%	18.1%	34.0%
30歳代	131	72.5%	55.7%	54.2%	18.3%	47.3%
40歳代	169	62.7%	55.0%	42.6%	14.8%	32.5%
50歳代	193	62.7%	54.4%	44.6%	17.1%	29.0%
60歳代	223	48.0%	41.3%	31.8%	14.3%	30.0%
70歳代	165	35.8%	41.2%	29.1%	17.6%	17.0%
80歳代	71	35.2%	33.8%	22.5%	15.5%	22.5%
職業別						
会社員	327	63.6%	53.2%	44.6%	17.1%	33.3%
自営業	69	49.3%	39.1%	42.0%	21.7%	33.3%
農林漁業	17	52.9%	52.9%	17.6%	17.6%	41.2%
公務員	53	64.2%	60.4%	43.4%	7.5%	35.8%
学生	27	66.7%	51.9%	59.3%	3.7%	25.9%
無職	389	47.6%	44.5%	32.4%	17.0%	26.0%
その他	159	57.9%	52.2%	46.5%	15.7%	30.8%
地区別						
東部	286	54.5%	46.5%	42.3%	17.5%	33.9%
西部	134	58.2%	48.5%	34.3%	12.7%	29.9%
中央	263	52.5%	49.0%	43.0%	17.5%	25.5%
南部	159	52.8%	48.4%	34.6%	17.6%	30.8%
北部	192	63.0%	53.6%	41.1%	14.1%	30.7%

【回答者の属性別にみた結果】

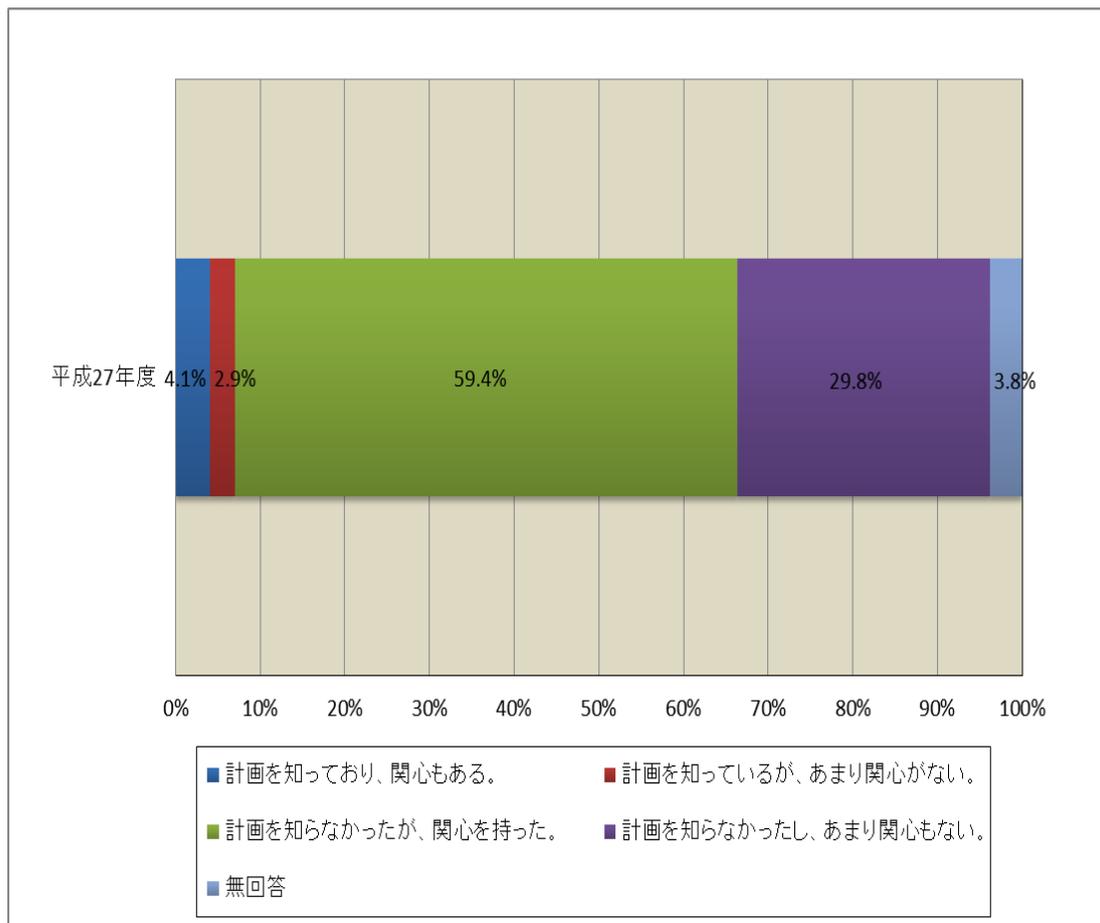
性別でみると、女性の「どのくらい光熱水費が下がるのか」の割合が、男性を 11.4 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～60 歳代の全ての世代で、「どのくらい光熱費が下がるのか」ということ以上に、「どのくらいの費用がかかるのか」に関心があることがうかがえる。

問17 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

問17. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

- ・「計画を知らなかったが、関心を持った。」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「計画を知らなかったし、あまり関心もない。」(29.8%)、「計画を知っており、関心もある」(4.1%)となっている。
- ・計画を知っている割合が全体の 7.0%となり、計画の認知度が低い状況にある。



■属性別回答

	合計	計画を知っており、 関心もある。	計画を知っているが、 あまり関心がない。	計画を知らなかったが、 関心を持った。	計画を知らなかったが、 関心もなかった。	無回答
全体	1,051	4.1%	2.9%	59.4%	29.8%	3.8%
性別						
男性	445	3.4%	4.3%	56.2%	33.7%	2.5%
女性	599	4.7%	1.8%	62.3%	26.9%	4.3%
年代別						
20歳代	94	0.0%	1.1%	50.0%	47.9%	1.1%
30歳代	131	2.3%	2.3%	70.2%	25.2%	0.0%
40歳代	169	1.2%	1.2%	60.4%	35.5%	1.8%
50歳代	193	2.1%	4.1%	62.2%	30.1%	1.6%
60歳代	223	6.7%	3.1%	61.9%	22.9%	5.4%
70歳代	165	9.1%	4.2%	53.9%	24.8%	7.9%
80歳代	71	5.6%	2.8%	49.3%	33.8%	8.5%
職業別						
会社員	327	3.4%	3.7%	59.9%	31.8%	1.2%
自営業	69	5.8%	2.9%	66.7%	17.4%	7.2%
農林漁業	17	0.0%	5.9%	58.8%	29.4%	5.9%
公務員	53	5.7%	5.7%	58.5%	30.2%	0.0%
学生	27	3.7%	0.0%	33.3%	63.0%	0.0%
無職	389	4.9%	2.3%	58.6%	29.3%	4.9%
その他	159	3.1%	1.9%	63.5%	26.4%	5.0%
地区別						
東部	286	2.4%	2.8%	62.6%	29.4%	2.8%
西部	134	6.7%	1.5%	53.7%	35.1%	3.0%
中央	263	3.0%	2.7%	56.3%	33.5%	4.6%
南部	159	5.0%	3.1%	61.6%	27.0%	3.1%
北部	192	5.2%	3.6%	63.5%	23.4%	4.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、女性の「計画を知らなかったが、関心を持った。」の割合が、男性を6.1ポイント上回っている。

年代別でみると、30歳代では「計画を知らなかったが、関心を持った。」の割合が70.2%と他の年代と比べ最も高くなっているが、一方で、20歳代では「計画を知らなかったし、あまり関心もない。」の割合が47.9%と他の年代と比べ高くなっており、計画への関心の薄さが現れている。

3. 参考資料(調査票)

「第3次熊本市環境総合計画」に関する市民アンケート

■調査ご協力をお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3,000人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※「第3次熊本市環境総合計画」は、熊本市本庁舎の市政情報プラザ及び環境政策課、又は各区役所、各総合出張所及び出張所でご覧になれます。

又は、市のホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) でもご確認いただけます。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒の宛名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙の2ページ目以降を、同封の返信用封筒にて、平成28年2月4日(木)までに投函してください。(切手は不要です。)

■お問い合わせ先

熊本市役所 環境局 環境政策課

電話：096-328-2427

FAX：096-359-9945

電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

担当：^{おおじ}大司、組崎

ご回答いただく前にお読みください。

熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもとに、様々な年代・性別・ライフステージにおいて、地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことで、さらにはその行動を、家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたいと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできたのは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、方法が分からなかったりなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えのもと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことで、

そこで、これらのプロジェクトを進めていくための参考とさせていただくため、設問1～5では「ひとづくりプロジェクト」について、設問6～12では「まちづくりプロジェクト」に関することについてお伺いさせていただきます。

また、設問13以降では、新たに市民のみなさまの現況を調査するために追加した設問となっております。

〈回答方法〉

* 設問の答えとして、あなたご自身のこと、またはあなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に丸（○）をつけてください。

* 設問番号に枝番がついていないものは、全員がご回答ください。

(例) 問2 この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

* 設問番号に枝番がついているものは、条件に該当する方だけご回答ください。

(例) 問2-2 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

次のページより、設問が始まります。

問2-3. 問2で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。
参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がなかったため
- 2 経済的な負担が増加するため
- 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
- 4 興味がなかったため
- 5 その他 ()

問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
- 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
- 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの
- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他 ()

問4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

- 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
- 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
- 3 無料で参加できる
- 4 気軽に参加することができる
- 5 専門的な知識を身につけることができる
- 6 友人や家族と一緒に参加することができる
- 7 その他 ()

問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他 ()

問6～12「まちづくりプロジェクト」について

問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ) ※例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

問7-1. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 町内自治会
- 2 PTA
- 3 NPO
- 4 老人会
- 5 婦人会
- 6 子ども会
- 7 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 8 その他 ()

問7-2. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 自然林や野生生物の自然保護活動 | |
| 2 自然観察会の開催 | |
| 3 植樹などの緑化活動 | |
| 4 森林保全活動 | |
| 5 地下水の保全活動 | |
| 6 河川環境保全活動 | |
| 7 清掃活動 | |
| 8 ごみステーションの管理 | |
| 9 リサイクルや資源回収活動 | |
| 10 歴史的文化遺産の保全活動 | |
| 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催 | |
| 12 環境保全のための寄付 | |
| 13 その他 () | |

問7-3. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--|
| 1 町内自治会 | |
| 2 PTA | |
| 3 NPO | |
| 4 老人会 | |
| 5 婦人会 | |
| 6 子ども会 | |
| 7 自分たちで立ち上げた活動グループ | |
| 8 その他 () | |

問7-4. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

問7-5. 問7で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他 ()

問8. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかれること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他 ()

問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ()

問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報紙など
- 5 インターネットや携帯電話
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPOからの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他 ()
- 11 情報を得ていない

問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

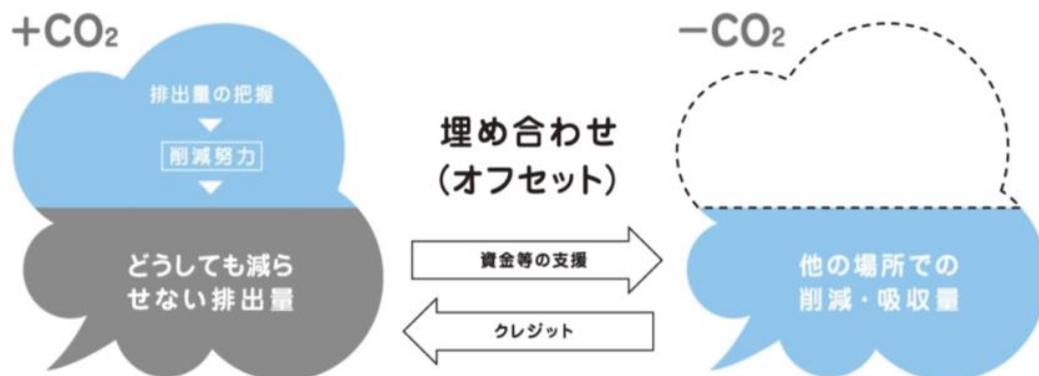
- 1 環境に関する一般知識
- 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
- 3 環境に関するイベントや学習会の情報
- 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
- 5 環境に関する調査の結果
- 6 環境に関する補助金の情報
- 7 国際的な環境の情報や交流の情報
- 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報
- 9 身近な地域の環境に関する情報
- 10 その他 ()

問12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※カーボン・オフセットとは・・・

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることを言います。



※出典：平成25年度カーボン・オフセットレポート（平成26年3月環境省）

過去の熊本市関連イベントでの「カーボン・オフセット」実施事業

- ・わくわく江津湖フェスタ（平成24～27年度）
- ・熊本城マラソン（平成24～25年度）
- ・熊本暮らし人みずあかり（平成26年度）

「生物多様性」について

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きものつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設問にお答えください。

問13. 「生物多様性」について知っていますか。（1つだけ）

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・

生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）をいいます。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

「ごみ出しルール」について

問14. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。（1つだけ）

- 1 きちんと守れている。
- 2 だいたい守れている。
- 3 どちらともいえない。
- 4 あまり守れていない。
- 5 全然守れていない。
- 6 分からない。

「スマートハウス」について

問15. 「スマートハウス」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

※「スマートハウス」とは・・・

スマートハウスについては、様々な定義があるものの、ここでは、①創エネ（太陽光等でエネルギーを創る）、②蓄エネ（蓄電池に電気をためる）、③省エネ（高効率のエアコン等の機器やHEMS^{*1}を導入）が行える家と定義します。

※1 HEMS（ヘムス）とは、家庭内の電気使用量等が把握できるとともに、自動もしくは手動で最適化することができるシステム。

問16. 「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか。
(複数回答可)

- 1 どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか
- 2 どのくらい光熱費が下がるのか
- 3 スマートハウスを建てるメリットは何か（光熱費以外）
- 4 スマートハウスの情報を取得できる場所はどこか
- 5 国や自治体の補助金に関する情報

「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

問17. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

- 1 計画を知っており、関心もある。
- 2 計画を知っているが、あまり関心がない。
- 3 計画を知らなかったが、関心を持った。
- 4 計画を知らなかったし、あまり関心もない。

※「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」とは・・・

近年の異常気象が引き起こす集中豪雨による洪水、熱中症多発の原因といわれる地球温暖化を防止するため、本市の地域特性を活かした具体的な取組等について定めた計画です。昨年度に改訂し、「市民の具体的な取組」を掲載して、身近な温暖化対策についても紹介しています。

Ⅱ 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

1 男	2 女
-----	-----

2. 年齢

1 20歳代	2 30歳代
3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代
7 80歳代	

3. 職業

1 会社員
2 自営業
3 農林漁業
4 公務員
5 学生
6 無職
7 その他 ()

4. お住まいの地区（回答欄に○をつけてください。）

回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田、田迎西、力合西
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

くまもとの環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【平成28年度版】

発行 平成28年10月
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
